

同窓会通信



母校への想い、脈々と。
いざ、団結のとき。

特集1

ニューリーダーインタビュー ～ 今こそ、真剣味の心をひとつに ～

特集2

真剣味を胸に活躍する母校の誇り



母校への想い、脈々と。 いざ、団結のとき。

1954(昭和29)年、商科のみの短期大学として歩みはじめて60年。

やがて改革のスピードをあげながら、中京大学は11学部11研究科を擁する総合大学へと発展を遂げました。

そしてこれに伴うように多くの同窓生、在学生らが国内外のあらゆる分野で存在感を発揮しています。

誇らしきはその姿、革新に挑み続ける、我が母校。

今こそ“真剣味”という共通の価値観の下、さらなる飛躍をともに目指そうではありませんか。

[中京大学] C y u k y o U n i v e r s i t y

同窓会通信 2014/ vol.32

C O N T E N T S

特集 1 03

ニューリーダーインタビュー

～ 今こそ、真剣味の心をひとつに ～

特集 2 11

真剣味を胸に活躍する母校の誇り

同窓生のお店探訪 真剣味の心をめぐる旅 17

日本の競泳界に今、大きく開花するCHUKYOアイデンティティ 21

聖なる火よりも熱く、母校ゆかりの7選手が大健闘!! ソチオリンピック2014観戦記 23

第16回 ホームカミングデー 25

第10回 名刺交換会 27

役員紹介 29

各支部からのたより 30

支部会報告 35

校友会本部からのお知らせ 45



メインテーマは

「今こそ、真剣味の心をひとつに」

中京大学学長 北川 薫

中京大学は今年二〇一四年、開学六十周年を迎えます。一九五四年（昭和二十九年）の開学以来、常に社会を見据え、その要請を受けて改革と挑戦を続けてきました。この間、卒業生は十二万人を超え、全国有数の総合大学に発展しました。同窓会OB、OGのご支援の賜物と感謝します。

六十年は、人間で言えば還暦。今の長寿社会では、文字通り第二の出発点です。同窓会でも、森谷敏夫京大教授（体育学部卒）を第六代会長に迎え、学校法人梅村学園では、梅村清英氏が第四代理事長に就任しました。

これまでの梅村学園や中京大学の歴史を創り、支えて尽力してきた人々を古酒とすれば、新理事長や新同窓会長はじめ今後の学園、大学を背負っていく世代は新酒にあたります。中京大学という革袋の中で、古酒と新酒が一緒になって、新生・中京大学が醸し出され、さらなる発展につながっていくのです。

施設面も充実しました。新しい図書館、五百人収容の学術ホール「清明ホール」が入る図書館・学術棟

（新一号館）、昔の面影を残しながらも十二階建ての高層ビルに生まれ変わった本部棟（新十二号館）、工学部の実験棟も名古屋キャンパスに完成しました。

また、文学部には歴史文化学科が誕生します。国際英語学部は、三専攻体制へ移行します。

このように人も、施設も、大学学部組織も、大きく飛躍しつつありますが、校訓「真剣味」も、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」も変わりません。次の六十年に向けたスタート台の中京大学長期計画「NEXT10」は、世代を超えるCHUKYOアイデンティティを掲げています。

アイデンティティとは、平たく言えば「ふるさと」です。ふるさとを同じくする者が、互いに敬意を払い、チームワークを創って、ベストを尽くす。「真剣味」の心をひとつにしてこそ、梅村学園、中京大学の輝かしい明日が約束されます。

今後とも、OB、OGの皆様には、中京大学への一層のご協力をお願いします。

【特集 1-1 / Special Edition】

New Leader Interview

～ 今こそ、真剣味の心をひとつに①～

昨年、同窓会長に就任し、11万人を超える同窓生を率いることとなった京都大学大学院森谷敏夫教授。新しいリーダーとしての決意や母校への想い、あるいは専門分野について、笑顔とともに語っていただきました。

同 窓 会 長

森 谷 敏 夫

T o s h i o M o r i t a n i

【1972年度 体育学部卒】

Profile

1950年、兵庫県生まれ。本学卒業後、カリフォルニア州立大学大学院、南カリフォルニア大学大学院博士課程を修了(スポーツ医学、Ph.D.)。テキサス大学、テキサス農工大学大学院助教授を経て、京都大学へ。現在、京都大学大学院人間・環境学研究科教授。

同窓会長に就任して

昨年五月、第六代同窓会長に就任以来、全国同窓会や支部同窓会などに少しずつ参加させていただきながら、ようやく全体の流れが解ってきた感じですね。まだピカピカの一年生といった気分でしょうか(笑)。

同窓会長としていちばんに把握しておくべきことですが、すでに卒業生が十一万人を超えていたのには驚きました。海外にも支部があることは、以前、カナダやオーストラリアで指導者として頑張っている体操部の後輩から聞き、母校の同窓会も随分、国際的になったなという想いを抱いていましたが…びつくりしましたね。

その会長として、どこまでできるか解りませんが、母校のためにお役に立てることがあれば、と考えています。

体操部目指して中京大学へ

小学生の頃は栄養失調になるくらい好き嫌いが多くてね(笑)。身体が軽かったから大車輪が回れて、鉄棒が天才的に上手かったです。それで体操部に入って、高校時代から本格的に練習を始めました。顧問の先生のご指導のおかげでインターハイ



テキサス農工大時代、外国人初のベスト・ティーチャー賞を受賞。
実践的でユニークな森谷教授の授業は、日本の「現役学生2000人が選んだ
面白い講義」にも選ばれています。

どの授業も僕の座る席は 決まっていて、いつも 最前列のど真ん中でした

や国体にも出場しましたね。また進
学校でしたので、毎週、先生の家に寝
泊りして勉強も教えていただきなが
ら…だから成績も結構良かった。

一九六八年のメキシコ五輪で中山
彰規選手(一九六四年度体育卒)が
大活躍されましたが、彼を育てた先
生と、その体操部の恩師が親しくし
ていたことから中京大学をご推薦い
ただきました。実は願書を提出し
て一週間で合格通知が届きまして
ね(笑)。まだ受験も始まっていない
時期に、高校では大学合格者として
「中京大学・森谷敏夫」といちばんに

貼り出されました。「中京大学?ど
この大学や?」って、まだそんな時代
だったんです(笑)。

深夜の猛練習で 感じた「真剣味」の凄さ

僕らの時代、体育学部は学生数が
多くて、一学年で八百人はいました
ね。しかも体操部は練習にこない部
員も含めると三百五十人。当時は小
さな体育館が一つしかありませんで
したので、授業が終わると、まずは
セッティングのいらないバスケット部が
練習するんです。それから卓球部、
体操部でローテーションを組んでね。

そんなふうでしたから、体操部の
番になると、一年生はすぐに鉄棒に
跳馬、マットと準備をして、あとは先
輩の練習が終わるまでじっとガマンで
す。さらにマット練習から始まります
ので、ずらっと行列を作りましてね。
ようやく自分の順番が来て、一回転
できたと思ったら「はい、練習終わ
り!」なんてしよっちゅうでした(笑)。
でもレギュラーになりたいものだけ
ら、寮で夕食を済ませてまた体育館
に戻り、練習を始めるんです。夜中、
興正寺のお墓の横を通ってね。「怖い、
怖い」なんて言いながら体育館へ行く



と、当時、卓球の世界チャンピオンに
なった小和田敏子さん、(一九六九年
度・体育卒)が男子部員二人を相手
に打ち合っていたらっしやるわけです。

こっちはもう迫力負けです。しか
もその卓球台の右上には『真剣味』
と書かれてあって、まさにその精神を
見せつけられる想いでした。

一流の教授陣に インパクトを受けながら

三年生の終わり、僕は鉄棒から
落っこちて選手生命を終えました。ス
ポーツでは断念しましたが、学問の世
界で金メダルを獲ってやろうとアメリカ
カ留学を決意したのは、その頃です。

いま思いますと、中京大学というのは優秀な先生方の集まるところで、生理学の世界的権威・高木健太郎先生はじめ、名古屋大学や東京大学、全国の大学から一流の先生方が来て講義をしてくださいました。僕など授業で感動することも多かったですね。

非常勤で英語を教えておられた京都大学の先生には、大いに触発されました。教科書を使わないユニークな授業もそうでしたが、ある時、将来は高校時代の恩師のような先生になりたいという僕に、「だったら、そんな素晴らしい教師を育てる先生になったら？」と提案してくれました。目から鱗の落ちる想いでした。

そんな教師になるには大学院に行かなければなりませんし、自分も先生方のような感動的な授業をするには、スポーツ医学の先進国で学びたい。学部で学びでインパクトを受け、いつしか「大学院進学」と「留学」、この二つが次の目標になっていました。そして、そうした一流の先生方を招き、生きた教育を展開されたことこそ、まさに中京大学の宝だと思えます。

アメリカで過ごした日々

すでに父が他界してしまいましたので、

バイトで資金を貯め、渡米して語学学校に通いながらカリフォルニア州立大学の修士課程を目指しました。

試験では語学力がわずかに届きませんでした。ひとまず入学が認められ、一学期の成績がすべて「良」以上なら継続、一つでもダメなら即退学、という条件が付けられました。

アメリカは厳しいですよ。でも尻尾をまいて帰るわけにはいきません。勉強ならどれほどやっても死なないだろう、というくらい頑張りましたね。体操で鍛えてありますし、『真剣味』の言葉もずしんと残っていました。

その後はスポーツ科学で博士課程を取るため、南カリフォルニア大学院へ進みました。担当の教授がそれは厳しい先生で、博士課程を終える、今度は医学部で単位を取ってこい、というんです。しかも大学院で(笑)。筋生理学に生化学、心臓循環器：一年以上、医学部で費やしましたが、今の僕のバックグラウンドが出来上がったと感謝しています。

専門領域のこと

今、取り組んでいるのは「スポーツ」「医学」「サイエンス」の三分野にまたがる「スポーツ医科学」という領域



上：カリフォルニア州立大学大学院留学時代。(右側)
下：体脂肪率は9.4%。まさに鍛えるのに年齢は関係ない。

で、そこには予防医学も含まれます。

たとえば心臓のリハビリや糖尿病患者の重症化を防ぐには、どんな運動が最も効果的か。日本のお医者さんは運動生理学を学んでいませんので、我々は体育学の専門家として、生活習慣病予防のために、いかに運動が大切な、医学的などころにアプローチしていくわけです。最近、認知症と運動の関連性も科学的に解明されていますが、今後、我々に対するニーズも増えていくことでしょう。後輩の皆さんには医学に直結するような角度からスポーツを学んで欲しいですし、そこは母校に期待したいところです。

「原点回帰」への想いを胸に

「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」という建学の精神を礎に、生き方や考え、将来的な目標もすべて大学時代に培われたと思っっています。僕自身、十九歳で寮に入り、淋しい想いをしたり、親の有難みに気づかされたり。そうした全部をひっくりかえり、今の自分がある。母校というのは、自分をつくってくれた原点です。ね。そこに立ち返ることで、この現実の世界で「また頑張ろう」、そう思える気がします。

また今年度より、中京大学の長期計画「NEXT10」がスタートしますが、教職員の方ばかりでなく、ぜひ同



窓生も在生も「一致団結して」という想いを強く持っています。
 ダライ・ラマがある時、「あなたがいちばん幸せに感じる時は？」と質問され、彼は「まさに、この一瞬間（just right now）」と答えたそうです。いつ死ぬかわからないからこそ、今、この生かされている瞬間が尊いんだということですね。そしてその瞬間、瞬間を連続して生きていくこと（どういふこと）。

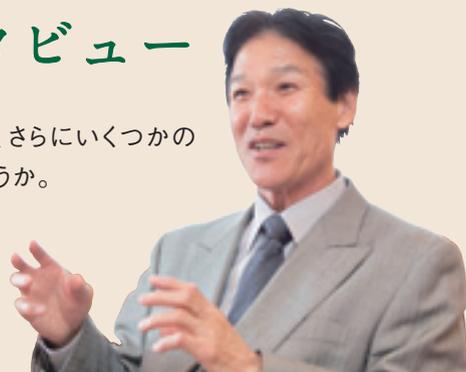
「NEXT10」の旗印のもと、この瞬間を精一杯、一致団結しながら目標に向かっていければと願っています。

生活習慣病予防に、いかにスポーツが有効であるか、皆さんにお伝えしたいですね

新同窓会長を知る!!

一問一答インタビュー

これから同窓会をリードしていかれる森谷同窓会長の素顔に迫るべく、さらにいくつかの質問にお答えいただきました。ざっくばらんなお人柄が伝わりますでしょうか。



Q1 幼い頃は、どんなお子さんでしたか？

A とにかく偏食で母には相当、苦勞をかけました。痩せっぽちで強く見せたかったのか、ケンカっ早い子どもで、逃げ足も速かった(笑)。

Q3 どんな学生を育てたいですか？

A 大学院からは15、16名ほど博士が巣立ち、全員、大学教員になりました。彼らには独創的な仕事ができるよう頑張っ欲しいです。

Q6 いま最も関心のあることは？

A 学者バカと言われそうですが、運動不足と認知症の関連性であるとか、脳を変えることのできる食事や運動に興味があります。

Q2 学生時代、苦勞された教科は？

A 国語、社会、歴史です。漢字なんて何故、覚えなきゃいけないのか。年号も同じ。テキストを開けば答えが載っていることなのに。

Q4 忙しさを乗り切るコツを

A 確かに忙しいですが、1日の優先順位を決めたら、そこに集中してきっちりやる。いらぬことは一切しない。メリハリが大事です。

Q7 「生涯現役」のために私たちが心がけることは？

A まず煙草をやめる。そして太らないこと。脂肪細胞が膨らむと炎症を起こし、体に悪い遺伝子が出てくるのが解っていますので。

Q5 実践されている健康法とは？

A 最低でも週4日、8kmは走っています。空手は週に1度、道場へ。シニアの部ですが、先月香港の国際大会で5位になりました。

Q8 モットー、または座右の銘を

A 「生涯現役、死ぬまで現役」と「一瞬を生きる」。体というのは使わないから退化するだけのこと。年齢じゃ、ありません。

【特集 1-2 / Special Edition】

New Leader Interview

～ 今こそ、真剣味の心をひとつに②～

昨年10月1日、小川英次前理事長からバトンを引き継ぎ、新理事長に梅村清英氏が就任されました。学校法人梅村学園、母校・中京大学を今後、どう導いていかれるのか。若きニューリーダーにお話いただきました。

理事長

梅村 清英

Kiyohide Umemura

【1990年度・経済学部卒 1995年度・経済学研究科博士課程修了】

Profile

1969年、愛知県生まれ。本学経済学部第1期生となり、卒業後、中京大学大学院経済学研究科修士・博士課程を修了。博士（経済学）。大学では経済学部教授、学部長、大学院研究科長を務め、また梅村学園では評議員・理事を経て現在に至る。

梅村学園理事長として 託された使命

昨年、学校法人梅村学園が創立九十周年を迎え、今年には中京大学が開学六十周年となります。

宿命というべきか、その大きな節目に理事長という大役をお引き受けすることとなり、改めて身の引き締まる想いです。これまでは理事という立場でしたが、今は最終決断者としての責任の重さをひしひしと感じています。

さて、前任者の小川英次先生（現名誉理事長）が理事長に就任された際、学園運営の基本指針として示されたのが、「コンプライアンス（法令遵守）」「USR（大学の社会的責任）」「コミュニケーション」「透明性」「バイタリティ」という五つのキーワードでした。

教職員が一致し、組織や日常業務の透明性を高めながら絶えざる改革に挑んでいくという、その確固たる信念の下、この二年半、務めてまいりました。今は小川先生の想いを引き継ぐとともに、小川先生のかげ声で昨年度一年間をかけて策定した中京大学長期計画「NEXT10」を着実に実行に移すことが理事長としての私に託された大きな責任ではな



「NEXT10」の目指すところは
建学の精神の具現化です。
そこに一丸となって
取り組みたいですね

いかと思っています。

新生・中京大学にむけて
「NEXT10」への挑戦

「NEXT10」で、私は策定委員会委員長を務めさせていただきました。理事、若手の専任教職員らとともに、問題の顕在化に努めながら十年計画をとりまとめました。

「NEXT10」は「しなやかに挑み続ける新生・中京大学」として、新しく生まれ変わる気概を持ちながら、さらなる飛躍を遂げようというもの

です。具体的には、「教育」「研究」「社会連携」「国際化」「卒業生連携」という五つの骨子、十分野にわたるいくつかの施策を、以後、スピード感をもって実行に移していくということです。

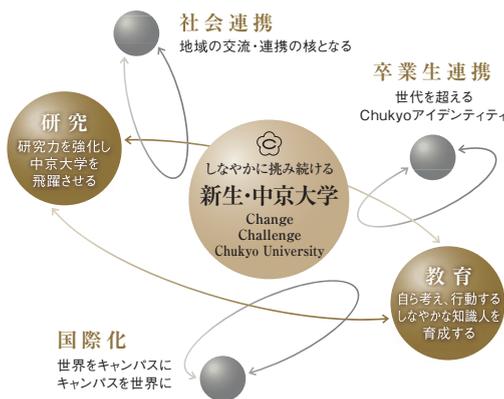
二〇二四年、十年後の中京大学のあるべき姿にむけて、卒業生の方々や広く社会も巻き込みながら、皆で新生・中京大学を創り上げていきたいと思います。

そのために、まずは学内の組織固めが大切です。教職員が一致協力し、沸き上がるパワーを飛躍へとつなげていけるよう、学内ががっちりスクラムを組む、そうした強固な体制づくりが当面の課題です。

森谷新同窓会長に期待すること

同窓会は、私自身、中京大学卒業生であり、大学院生の頃から理事長就任まで副会長を務めさせていただきましたが、昨年、森谷敏夫教授が会長にご就任されました。京都大学大学院で教鞭を執り、第一線で活躍されていた偉大な先輩に卒業生を束ねていただけるというのは、非常に有難いことです。

「NEXT10」5つの骨子について



森谷会長は学生時代、厳しい環境に挫けることなく勉学や部活動に励まれ、その経験を土台に渡米し、ご自身の力で道を切り拓かれました。まさに建学の精神「學術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を実践されたわけです。恵まれた環境が当たり前のようになっているこの時代だからこそ、若い同窓生にそうしたご経験をお伝えいただければ幸いです。同窓生の皆様とコミュニケーションをとりながら、母校への想いをお伝えいただけると期待しています。

先ほどの「NEXT10」の基礎となつているのが、校訓「真剣味」であり、建学の精神「學術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」なんです。反省すべき

ことですが、本学がスピーディに発展してきた一方で、いちばん根幹となる部分の建学の精神がどこかへ置きざりにされてしまったという現状があるからです。

教育も研究も、もちろん卒業生の皆様との連携も、揺るぎようのない精神や共通の価値観のもとに培われていくものです。そこを森谷会長は本当に実践してこられました。私自身もその流れを、今後しっかり作っていきたいですね。

「中京愛」から「母校愛」へ

一九八六年に社会学部が豊田キャンパスに開設され、翌年、経済学部が名古屋キャンパスに誕生して、私はその第一期生となりました。

じつは中学、高校と進学校に通い、偏差値教育を受けた影響から、他大への進学を考えた時期がありました。

しかし、子どもの頃から祖父や父の姿を近くで見ってきましたし、高校野球ともなれば、甲子園のアルプスタンドで熱い声援を送ってきました。やはり将来は梅村学園に骨を埋めるという気持ちで勝り、中京大学への進学を決意したのです。

自分の置かれた環境や立場をどう考えるのか。いまとなつては懐かしい思い出です。

かつては人前で話すことが苦手なタイプでした。教員となつて初めての講義では、最前列には卒業したはずの先輩や後輩というやじ馬がずらり、定員四百六十名の教室が満席という、逃げ帰りたくなるような大洗礼を受けたこともありましたが(笑)。この経験がバネになったと思っています。

温かい支えと励ましの言葉と

同窓会では、副会長として、今井宏司顧問、土方清顧問、川岸信一顧問らと歴代会長にお供させていただきながら、かけがえのない経験を積むことができました。

ある時、参加した支部同窓会の席で、急きよ副会長として挨拶をすることになりました。突然の展開に頭の中は真っ白。何の準備もしていなかったことを後悔する若い私もいましたね(笑)。

同窓生の方々とふれあい、有難い言葉もたくさん頂戴してきました。「祖父や父にお世話になった」と温かい声をかけていただけるともたびたびです。お酒も入る懇親会での忌

憚らないご意見、厳しいご批判も大歓迎です。

この時代こそ生きる 文武不岐の教えを誇りに

これはあまりご存じないことかと思いますが、そもそも梅村学園のルーツは江戸時代、四代目梅村清茂に始まります。徳川光圀公が大日本史を編纂する際、京都から呼び寄せたとされる人物で、一七一六(享保元)年に水戸で清信塾を開き、藩士の子弟に武士としての教えを授けるようになりました。

そして、その教えを梅村家発祥の地である愛知県に持ち帰ったのが、十

二代目で学園創立者の梅村清光先生です。一九二三(大正十二)年、中京商業学校を開校しました。

建学の精神は、水戸学の理念「文武不岐(文武わかれず)」を説いたものです。これを学園の初代理事長で中京大学の開学者、初代学長の梅村清明先生は「ルールを守る、ベストを尽くす、チームワークをつくる、相手に敬意を持つ」ことをスポーツマンシップの四綱として提唱されました。

これを体得した学生は、「個人、家庭人、あるいは社会人や国民、世界人類の一人として望ましい人間である」という教えですね。私は、そのまま現代に通じる素晴らしい教育理念ではないかと思っていますし、この理



上：1994年。恩師の沈先生(故人)と新千歳空港で。

下：1994年。アメリカンフットボールの仲間と。前から2列目で拳を振り上げている。



念なくして改革は語れません。
 今後、数々の施策を打ち出してい
 く上でも、まずは校訓や建学の精神
 の浸透ありき、ではないかと考えてい
 ます。対象は在学生ですよね。それ
 には教職員に徹底できるかどうかで
 す。その上でこそ在学生にも浸透を
 図れる気がしています。

同窓生の方々には、三百年前から受
 け継がれてきた教えに触れ、学んだ四
 年間に誇りを持っていただきたと思
 います。その上で、さまざま同窓会
 活動にご参加いただき、何らかの形で
 在学生、そして中京大学をサポート
 していただければと願っております。

初講義の日、最前列には
 卒業したはずのやじ馬がずらり。
 無言のエールをもらいました

新理事長を知る!!

一問一答インタビュー

梅村理事長の魅力あふれる人物像をお伝えできるよう、さらにディープな質問を投げかけて
 みました。一つひとつの答えから感じられる率直なお人柄に期待が高まります。



Q1 幼い頃は、どんなお子さんでしたか?

A ちょっと言葉は悪いですが、振り返ると、自分でも“クソガキ”だったと思います。わがままでケンカっ早くて(笑)。あとは中日ドラゴンズをこよなく愛する子どもでした。

Q3 経済学の面白さとは?

A 人によっていろいろな感じ方があるでしょうが、物事を論理的に順序だてて考えるよい訓練になると思います。

Q6 いま最も関心のあることは?

A (仕事以外、ということであれば)先日、新しい子犬が家族に加わり、これをどう育てようか、ちょうど思案しているところです。

Q2 意外な特技をお教えてください

A 中学、高校と卓球部、大学入学後10年間はアメリカンフットボールに夢中になりました。…意外と知られていないとなると、メダカの世話かな(笑)。いまは200匹くらいでしょうか、多くて数えきれません。

Q4 リーダーに求められるものとは?

A 人とのコミュニケーションですね。どんな方とも同じ目線で、まずはこちらから腹を割って話すこと。それがコツじゃないでしょうか。

Q7 つねに挑み続けるパワーの原動力は?

A やはり“家族の支え”じゃないでしょうか。日々感謝しています。

Q5 いちばんリラックスできる場所は?

A 自宅でしょうね。昔からビートルズファン。寝室にあるオーディオで、少しうるさいぐらいにボリュームを上げて聴くのが、本当は好きなのですが…。

Q8 モットー、または座右の銘を

A (力強く)やはり「真剣味」ですね。それからもう一つ、「継続は力なり」です。

活躍する母校の誇り

深い学びや教え、あるいは人生を大きく左右するような出会いやきっかけを得て、自分が進むべき道を見つける大学時代。社会、文化、スポーツ界、今、それぞれの分野の第一線で活躍する彼らに共通するのは、そうした一つひとつに対する深い感謝の念と、やはり建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」にあるようです。

中

部経済産業局の仕事は、中部五県を管轄エリアに、技術開発の支援や経営のサポート、海外からの資本導入や海外への輸出拡大など、さまざまな角度から地域や産業の振興を図り、地域の活性化を促すことです。

そこで現在の私自身の役どころとしては県境を越えた中小企業と大企業、あるいは大学・研究機関といった産学官が広域的な連携を図りながら、同時に全員が利益を得られるよう考えることでしょうか。やりがいのある、しかし非常に難しいポジションですので、苦しい場面も多々ありますが、そんな時ほど「真剣味」の言葉が頭をよぎります。じつは附属高校時代に野球をしてきたこともあって、ここで負けてたまるか、という「中京魂」も自分の中で培われた精神の一つ。根っからの負けず嫌いな性格とあわせて、こころ、という時に踏んばるための、

私の三点セットになっています(笑)。

振り返ると、大学生の頃は行政書士の資格を取り、将来的に法律事務所で働きたいと考えていたんですね。ところが二度のチャレンジも失敗に終わり、急遽、公務員試験に方向転換することになった。三年生の秋のことです。行政書士の勉強と重複する部分もありましたが、公務員試験は中身が幅広く、朝から晩まで、大学の図書館にこもり対策に追われたことを憶え

母校で培われた

“真剣味”と

“中京魂”に

今も支えられて

ています。

話が前後しますが、行政書士の二度目のチャレンジの時、自分にさらに大きな負荷をかけるため、宅建主任者とFP(ファイナンシャルプランナー)の資格にも同時に挑戦したんです。一方、行政書士講座の先生の方針で、受講生をいくつかのチームに分け、チーム単位で合格を目指そうということになり、そのリーダーに抜擢されました。どうにも頑張るしかないですよ(笑)。

あいにく行政書士以外は合格という結果でしたが、チーム全員が受かるためにはどうすればいいのか。私自身、追い込まれた状況の中で、周りのことを考える機会を与えていただいたこと、至らない点をサポートしてくれた友人や先輩が、今でも私の支えになっている気がします。

現在、この地域への対日投資の活性化と、地域企業の海外展開支援に取り組んでいます。じつは中京大学にもご協力いただいています。自分が頑張っている姿を母校に見せられるのは、嬉しい限りです。



Person

01

飯野 智大さん

(2003年度卒 法学部法律学科)

附属高校、中京大学を卒業後、経済産業省中部経済産業局に入局。マルチな人材育成のための2~3年毎の異動により、さまざまな部署でキャリアを積み重ねてきた。「部署を離れても人脈がつながっていく面白さ」に惹かれ、情熱を燃やす。



真剣味を胸に

母校の教え、良き師、良き友との出会いを前進する力に変えて

も

ともと数学が好きだったこともあり、大学一年の春に受講を始めたのが、日商簿記検定講座でした。それまで大学生になったら羽を伸ばして遊ぶつもりでしたが、高校から一緒に進学した友人たちはそうじゃなかった(笑)。

でもそのおかげで三級、二級と順調に合格。自分には会計士や税理士という仕事に向いているように思えるようになりました。そのタイミングで公認会計士の入門講座も始まって、チャレンジすることになったというわけです。

今では絶対に無理なことですが、当時、一日十二〜十四時間は机にかじりついて勉強しました。ただ私自身の意志の強さというより、頑張っている周囲のムードに自然に引張られた感じですね。もちろん、試験に落ちてしまえば翌年に持ち越さなければなりませんし、同級生が社会人となつて働いているのに、自分だけ出遅れるわけにはいかない。そんな気持ちも強かったと思います。結局、切磋琢磨できる仲間が存在が大きかった。あとは勉強に専念できるように、後ろから支えてくれた両親のおかげですね。

トーマツについては、四大監査法人の一つということもあり、チャレンジのつもりで入社試験に臨みましたが、無事に、九月には内定をいただくことができました。あくまでも公認会計士試験の合格が大前提で

切磋琢磨できる
仲間と
恵まれたサポート
環境に感謝

したので、十一月の合格発表まで生きた心地がしませんでした(笑)。

現在、大手のクライアントをいくつか任せていただいています。公認会計士として企業の会計監査業務や財務、経理をチャェクするほか、助言・指導も求められますので、新しい基準や金融情報などを常にインプットしておかなければなりません。そうした大変さはどんな業種も同じでしょう



けれど、クライアントに感謝されるとやがいを感ずります。

会社の同期には東大や慶応、名古屋大学など有名校の出身者がずらり。今でこそ全国区となった母校ですが、入社当初、「仕事では負けるものか」と奮起できた気がします。改めて中京大学の卒業生であることを誇らしく感じますね。



Person

02

武藤 健司さん

(2005年度卒 経営学部経営学科)

附属高校から中京大学へ進学し、公認会計士資格を取得。卒業後は四大監査法人の一つ、有限責任監査法人トーマツに入社。「自分で何かを頑張ろうというより、良き友人、良き先生、良き環境とめぐりあえたおかげ」と母校に感謝する。

元

来、身体を動かすことが好きな性分なのでしよう。大学時代も親父が営んでいた中国料理店「かつば園菜館」を手伝うだけでなく、アルバイトもし、卓球部の部室に居候し、勉強もするといった生活を送っていました。

卒業後、中国料理を学ぶため東京へ修業に出たのですが、当時は見習いに対して丁寧に教えてはくれませんが、だから見て覚えていくのですが、三回同

じ失敗をするとピンタが飛んでくる(笑)。三百種類ほどのメニューを二か月半でノートにまとめ、洗い場で鍋肌に指を滑らせて味を把握したものです。持ち前の負けん気と行動力、大学で身につけた真剣味の姿勢があったからこそ、厳しい日々を乗り越えられたのだと思います。

修業を始めてから約三年半後に親父が他界したため、名古屋に戻って店を継ぎました。しかし、料理人仲間が

「今この時」に真剣に集中する
それを続けてきたことが
旭日双光章という叙勲に

いないのが寂しくてね(笑)。まず日本中国料理協会に入り、愛知県調理師会や日本調理師会、全国調理師養成施設協会などで中部地区本部長や理事をやらせていただきました。店では料理に創意工夫を凝らし、各会でも東西奔走し、さまざまな活動に励んだものです。

平成十三(二〇〇二)年には卓越した技能者(通称・現代の名工)として表彰をいただきました。さらに平成十九(二〇〇七)年春には黄綬褒章を、昨年の春には旭日双光章という叙勲も頂戴することができました。調理師として中国料理を提供するだけでなく、調理師養成や食育、健康保健衛生など、食に関わる広大な世界で、その時々目目の前に真剣に取り組む続けてきたご褒美だと感謝しています。

東区泉の現在地へ店を移転する際には、大学の後輩に設計をお願いするなど、同窓生にも大いに助けられてき



ました。店の調理場は息子が継いでいますが、今年は、私が中国料理に携わって五十年の節目。今も昔もお客様の「おいしいー」という一言が何よりもうれしいため、七十歳を超えた今も接客に、各会での活動にと動き回っています。



Person
03

伊藤 理夫さん (1963年度卒 商学部商学科)

かつば園菜館代表取締役。店では安心・安全な素材を用いた医食同源の中国料理を提供。一般社団法人愛知県調理師会会長、公益社団法人日本中国料理調理師会理事として、調理師養成、アレルギーやメタボ対策、食育等にも取り組む。



第43回日展 (2011)

特選 真蘭雪詩 梶山夏舟

日展に初入選したのは昭和五十六(一九八二)年、三十三歳の時です。まだ若かったですね(笑)。二度目は三年後、さらに七、八年かかって三度目と、入選はこれまでに十六回ですね。初めて特選をいただいたのは、平成十二(二〇〇〇)年、第三十二回

日展です。師匠の殿村藍田が紙ではなく麻布に書いた時のことを思い出し、試してみると、これが何ともいえない面白味が出ましたね。墨の濃淡や文字の強弱、麻の風合いとの調和を追い求めていった作品で特選です。以来、麻布をやめられなくなりました(笑)。

殿村藍田は、戦後書壇の鬼才とも呼ばれた厳しい師匠で、お手本通りに書こうとすると即、こぶしが飛んできた(笑)。たとえば「明」の時代の書家、董其昌(とうきしやう)、「宋」の時代の米芾(まいふつ)など、どんな偉人の書でも「絶対に、自分を入れて書け」というんです。独自のものを出さないと、作品は残らない。つまり自分が残らない、という事なんですね。

殿村藍田の、流れるように柔らかなで自由な行草に魅せられ、門を叩きました。私自身も含め、弟子は皆、藍田の意志を引き継ぎながら己の書を確立しています。おかげさまで一昨年、日展では二度目の特選を受賞し、「委嘱」という肩書を頂戴しました。これで入落に関係なく出品できるようになりましたが、「書」は奥深い世界。時代時代で字の形も変化しますし、まだまだ、これからです。

そもそも友だちにくつついて稽古に通ううち書道が好きになり、中京中



Person 04

梶山 実夫(夏舟)さん (1971年度卒 文学部国文学科)

中学、高校、大学と中京一筋。現在、各書道団体の常任理事や展覧会の審査員を務める他、卒業後すぐに始めた教室で、週二回、子どもから大人まで指導する。日展入選者や文部大臣賞受賞者なども輩出しており、後進育成にも余念がない。

学時代、日本芸術院賞も受賞された樽本英信(樹邨本学名誉教授)先生と出逢って、さらにのめり込んでいった感じでしょうか。とくに大学時代、集中する時はそれこそ「真剣味」の精神で、書と向きあう一瞬に神経を注ぎ込むことを教わりましたが、遊びと

なったら、これもパワー全開(笑)。陸上部も体操部も関係なく書道部に集まって、大学祭を盛り上げようと熱き血潮をたぎらせた良き時代でした。染みつけた中京魂といえますか、「いいものを書きたい」という一心で、これからも攻め続けたいと思います。

日々鍛練の賜物 第四十三回日展「書」で ふたたび特選を受賞

同

窓生の皆様の中には、「高等学校体育連盟(以下、高体連)」と聞いてもピンとこない方もいらっしゃるでしょう。私が校長を務める嶺北高校でも毎年、カヌー部がインターハイ(全国高等学校総合体育大会)や国体に出場していますが、そのインターハイの開催をはじめ、高校生の健全育成、競技力向上、生涯スポーツ実践の基礎づくりを推進する全国的な組織が高体連です。

私は昨年度より、その高知県高体連会長に就任し、さまざまなカタチで

スポーツ振興に取り組んできました。とくに高知県には男子ソフトボールや相撲、卓球といった「お家芸」と呼ばれる競技に加え、最近では弓道や男子バスケ、ソフトボールも全国上位を狙えるレベルに達し、サポートする側としても力が入ります。

人を成長させたり、多くの人に感動や勇気を与えたり、また人と人をつないだりできるのがスポーツの魅力。その素晴らしさを一人でも多くの高校生に経験してもらえよう、人材育成に力を注ぐと同時に、単に競技力向上だけでなく、生涯スポーツへつないでいけるように頑張っています。

私自身、大学時代はソフトテニス部員として汗を流しました。そもそも高校の先輩で当時のソフトテニス部監督・横江忠志先生(元世界チャンピオン)に憧れて入部したのですが、待っていたのは想像を遥かに上回る厳しい練習の日々。全部員「日本一になるには、日本一の練習しかない」を合言葉

Person
05



川島 祥嗣さん (1978年度卒 体育学部体育学科)

大学卒業後、83年より教諭として高知県立室戸高校へ赴任。以後、高知園芸高校、岡豊高校などを経て、昨年4月、高知県立嶺北高校に校長として着任。と同時に、09年より理事長を務めてきた高知県高等学校体育連盟の会長に就任した。

高知県高体連会長として

スポーツ振興に取り組み、

若い高校生に真剣味の心を伝える

すことができました。

いわゆる「真剣味」とは、どこまで本気になるか、ということだと思えます。これは私にとって教員の原点となつていますが、学生時代、一つことに徹底的に打ち込む経験は非常に貴重で大事なことであり、中京時代に培われたこの精神を若い高校生に伝えることが、私の役割ではないかとも考えています。

そして微力ながら母校の卒業生として、多くの同窓生の皆様と共に大学発展のために努力したいと思っています。





竹内 裕幸さん (1996年度卒 体育学部体育学科)

大学を卒業後、母校・名電高校(名古屋市)でバレーボール部のコーチを務め、当時、県大会にも出られなかったチームを全国大会へと導いた。99年より星城高校(愛知県豊明市)に移り、監督に就任して14年目。現在、全日本ユース(男子)のコーチも務める。

よ く「二年連続日本一」とか「六冠」であるとかいわれますが、そこを目指して指導してきたわけはありませんで、今、あり得ない出来事が続いているような想いでチームの現状を受け止めています。

昭和四十年代に大阪商業大学附属高校(現大阪商業大学高等学校)が高校総体、国体、全日本高校選手権で優勝し(三冠)、さらに翌年度の国体まで勝ち続けて史上初の「五冠」を成し遂げたようですが、大商大高校

はかつて僕自身も憧れた雲の上の存在。そこに並んだつもりは毛頭ありませんし、チームのスタイルはずっと同じ、普通の高校のバレーボール部という感覚です。ただ目の前の相手を倒すために何をすべきか、ということをはたすら積み重ねてきた結果でしょうか。

実は大学時代、戦術面で監督とぶつかり、三年生の時に自分からコートを離れてしまった経緯があります。当時は大人のつもりで「監督とは考え方が違う。自分を選手としてもう使わな

いでくれ」と食ってかかってしまった。

結局、自分の未熟さゆえに、現役を終える格好になってしまいました。監督の持つ力の大きさや責任、チームにとって大切にすべきことなど多くを学びましたし、指導者としての根っこがそこにある気がしています。

今、時代の流れに合わせて、というべきか、生徒たちを怒ることは滅多にありません。練習メニューも自分たちで考えさせますし、指示もあまり出さない。彼らには、たとえ負けても自分たちが納得のいく戦い方をしたいのですし、そうして掴み取ったことを次へつなげて欲しいと思います。

そこでいかに指示を出さず、勝てる方向へチームを導くか。それが僕の課題であり、歯痒い部分でもあります。が、生徒たちには日常的なところでどんどん失敗して欲しいですね。

メンバーの中には、三年間で燃え尽きなければならぬ身体能力の子もいれば、日の丸を背負っていくべき子も

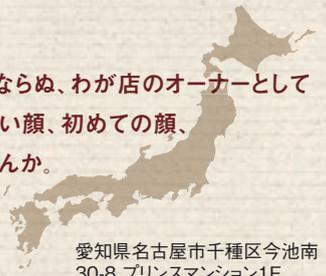


何人かいます。大切なのは今後、星城高校が日本一であり続けることよりも、生徒それぞれの将来です。そのためにも個々の想いを受け止めつつ、自分の道をしっかりと歩んでいけるよう指導していきたいですね。

自主性を重んじる指導で 高校バレー史上初、 二年連続三冠(六冠)達成

めぐる旅

母校を卒業して歩む道はそれぞれ。ですが、一国一城の主ならぬ、わが店のオーナーとして日々奮闘している同窓生が全国にいらっしゃいます。懐かしい顔、初めての顔、同窓という絆をたどり、旅しながら彼らのお店を訪ねてみませんか。



●愛知県尾張旭市

きものの丸文

須崎 兼広

(1975年度 商学部経営学科卒)
株式会社 丸文 オーナー

愛知県尾張旭市三郷町中井田45

☎0561-53-2391

【営業時間】10:00~19:00

【定休日】木曜・第3水曜

◎作務衣と和の専門店「職人の技ひめか」

http://www.himeka.jp/

◎名鉄瀬戸線

「三郷」駅から徒歩3分



着物はもちろん、メンテナンスまで自信の呉服店。インターネットでは種類豊富な作務衣を販売中。

●愛知県名古屋

お食事の店「ありす」

荻毛 正信

(1971年度 文学部国文学科卒)
ありす店主

愛知県名古屋市千種区今池南

30-8 プリンスマンション1F

☎052-733-7092

【営業時間】11:30~14:00 / 17:30~22:00

【定休日】日曜・祝祭日

◎地下鉄桜通線

「吹上」駅から徒歩7分



ご飯、味噌汁に8種類の惣菜がついたランチは600円。温かいおふくろの味を求めて昼夜、常連客で賑わう。

故松田元学長も愛した 心なごむ店、くつろぎの味

いつもカウンターには十種類ほどのお惣菜を日替りで用意しています。人気は牛すじのどて煮やカレーライス、寒い季節には鴨なべもよく出ます。一品一品、どれも手作り。地元の常連さんに気軽に来ていただけるようリーズナブルに、野菜は自家栽培、市場にも足しげく通いながら新鮮な素材を仕入れるような心がけています。

お店を始めて三十六年。スナック

をやっていた頃は、松田岩男元学長も常連のお一人でした。家庭的なムードを気に入っていたいただいたのかもしれない。

高校時代は弁論部、高校野球の応援団にも加わり結構、熱かったですよ(笑)。もちろん、真剣味の精神はいまも染みついている、僕らのような商売でも手抜きはしないということ。同窓生で賑わうこともあります。ぜひご来店下さい。

昭和二十六年創業 着物とじっくり向き合える老舗

学生時代は、気心の知れた友人たちと和気あいあいと過ごした四年間でした。店の看板もその一人がつくってくれたもの。いまも仲間と真剣味が私の支えですね。

さて訪問着や留袖、振袖と着物を新調される方ばかりでなく、最近はしみ抜きや丸洗いなどのメンテナンスのご依頼が増えました。

やはり着物は高額商品。きちんとお手入れすれば、新品に近い状

態で気持ちよく着ただけですし、お母さん、お祖母ちゃんがつくってくれたものを、今度は娘さんへ受け継ぐことも可能です。

お客様にはそうしたお手入れの仕方をお伝えしたいですし、メンテナンスを含め、どんなご相談にも対応できるように心がけています。よみがえった着物は愛着もひとしお。同窓生の皆様にもぜひお気軽にお訪ねいただきたいですね。

最寄りの目印スポット

愛知県森林公園

約468haの広大な敷地に、テニスコートや乗馬場、ゴルフ場といった運動施設をはじめ、植物園や児童遊園地などが整備された森林公園。春は桜、秋は紅葉と一年を通して多くの人々が訪れます。



尾張旭市

最寄りの目印スポット

千種文化小劇場

通称「ちくさ座」。鳶(つた)がびっしりと生い茂る外観と円形舞台が特徴的なホール。演劇を中心に、コンサートや舞踏、発表会など、年間を通して多彩なプログラムが開催されています。



名古屋市千種区

同窓生のお店探訪

真剣味の心を

● 静岡県浜松市

キャナリィ・ロウ 浜北店

木俣 和広

(1981年度 文学部国文学科卒)

株式会社キャナリィ・ロウ FC店オーナー

静岡県浜松市浜北区
貴布祿351-7

☎053(585)0620

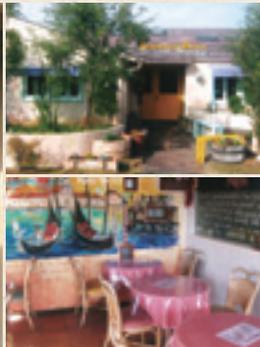
【営業時間】11:00~22:00

【定休日】月曜

(祝日の場合は営業)

◎遠州鉄道西鹿島線

「浜北」駅から徒歩5分



全国約60店舗を展開する
本格パスタ・ピザの専門店。
手作りの美味しさとくつろぎ
の空間が好評。

● 兵庫県神戸市

気分転館

太田 勝美

(1975年度 商学部商学科卒)

気分転館院長

兵庫県神戸市中央区旭通5丁目3-4
アクティブ88 4階

☎078(251)1781

【営業時間】10:00~20:00

【定休日】無休

◎HP <http://www.kibuntenkan.com/>

◎JR「三ノ宮」駅から徒歩1分



別名「美女製造工房」。1回
の施術で驚くほどの効果が
あり、遠方から治療に訪れる
お客様も多数。

地域一番店を目指す 人気のイタリアンチエーン店

お恥ずかしい話、アルバイトや友人との遊びに一生懸命でしたが、名古屋キャンパスで過ごした四年間は、私の人生の貴重な財産です。

卒業単位もギリギリのところでない学生ながら、アルバイト経験がもとで卒業後は調理の道へ進み、平成十四年からキャナリィ・ロウ浜北店の営業を始めています。

当店は手作りパスタ、ピザ、ドルチェが人気のフランチサイズチェーン。

美女製造工房と大評判 一回の施術で歪みもすっきり

母校ではフラメンコギタークラブに所属し、素晴らしい友人も得ました。その交流は今も続いており、人との出会いの大切さを痛感しています。卒業後、三十九歳で失明してから指圧、はり、きゅうを学び、国家免許を取得して当院を開業しました。おかげさまで昨年、十五周年を迎えたところです。

当院では、骨格の歪みからくる肩こりや腰痛の治療はもちろん、骨

盤、小顔、脊椎、二の腕などの美容矯正も好評で、ホームページにはお客様から千七百件を超える喜びの声をいただいています。

治療師は皆、国家免許保持者で、東洋医学だけでなく西洋医学の知識も豊富ですので、安心して治療を受けていただけたらと思います。身体の不調でお困りの方はぜひご一報下さい。美と健康の幸せを実感していただきたいと思っています。

最寄りの目印スポット

第二東名 浜松浜北インター

2012年4月に開通した第二東名「浜松浜北IC」は、お店から車で10分ほど。2014年度には「浜松いなさJCT~豊田JCT」も開通予定で、豊田キャンパスへのアクセスも一層スムーズになります。

静岡県
浜松市



最寄りの目印スポット

神戸の観光名所めぐり

JR三ノ宮駅は神戸の玄関口であり、神戸観光の拠点のスポット。周辺には北野異人館、旧居留地、灘の酒蔵、有馬温泉、布引ハーブ園、神戸港クルージングなど、多くの観光名所が点在しています。

兵庫県
神戸市



● 岐阜県下呂市

飛騨川温泉しみずの湯

和田 剛

(1992年度 体育学部体育学科卒)

飛騨川温泉しみずの湯支配人

岐阜県下呂市萩原町四美1426-1
☎0576(56)4326

【営業時間】10:30~21:30

【定休日】火曜(祝日の場合は翌日)

【利用料】

・温泉のみ

大人600円(土日祝650円)/小人300円

・温泉プール 大人700円/小人400円

◎国道41号/名古屋より約3時間・

高山より約1時間



水温35℃の温泉プールを完備した日帰り温泉施設。美肌自慢の泉質は、日本の名湯下呂温泉ならではの。

● 山口県下関市

下関グランドホテル

徳島 孝彦

(1969年度 商学部経営学科卒)

下関グランドホテル取締役総支配人

山口県下関市南部町31-2

☎083(231)5000

◎山陽本線「下関」駅から車で5分

新幹線「新下関」駅から車で20分



関門海峡の眺望と、下関の五大食材(ふく、うに、鯨、あんこう、イカ)を堪能できるシティホテル。

下関の「ふく(フグ)」を味わい
上質な寛ぎを堪能する

大学祭のパレードで街を練り歩いたことが懐かしいですね。その時の「組織の中の人間よ、誇りある理想の我を持つとう」とのスローガンは、社会人になり身に染みる想いでした。また寮生活で培った友情や礼儀作法等の教えは代え難いものであり、今、おもてなしや社員教育に結びついています。

学生時代のアルバイトをきっかけにサービス業を学び、下関に新しい

ホテルが開業するということで帰郷しました。それから当ホテルは今

年で四十四周年を迎えます。下関の歴史とともに市民が育ててくれた、地域密着型のホテルです。顔馴染みのお客様が多いからこそ、ピリツとした緊張感を忘れず、お客様にご満足いただくことが使命。真剣味の精神とも通ずるでしょうか。ぜひ当ホテル自慢のふく料理とおもてなしの心をご堪能ください。

下呂のいで湯につかり
心身をと きほぐすひととき

学生時代は水泳部に在籍していました。鶴峯元監督の「私の夢は、日本国民すべてにスポーツ(水泳)の楽しさを伝えることです」という言葉が私の原点であり、いつも指標となり支えてくれています。

当施設は温泉プールも充実した健康づくりの拠点。泉質はアルカリ性単純温泉で、運動障害や冷え性でお悩みの方に良く効くと評判です。また運動や生活指導も行っています

が、「腰痛が治った」「肩凝りがラクになった」など、お客様から感謝の言葉を耳にするたび心身の疲れが吹き飛びますね。

下呂は雪深い地域ですが、年間を通して誰もが健康づくりに励めるようプールの水温に気を配るなど、環境づくりに尽力しています。「中京大学割」もご用意しています。この癒しの空間にぜひお立ち寄りください。

最寄りの目印スポット

南ひだ健康道場

250haの広大な敷地に「しみずの湯」をはじめ、「食の工房」「香りの館」「薬草の森」などさまざまな施設が点在。健康に関する多彩な講座も用意され、大自然の中で健康体験を楽しめます。

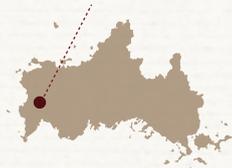


最寄りの目印スポット

海響館・唐戸市場など

ホテルに隣接した水族館「海響館」や海の幸豊富な「唐戸市場」まで徒歩2分。また、エキゾチックな観光スポット「門司港レトロ」や「巖流島」もすぐ。史跡も数多く点在する便利な観光拠点です。

山口県下関市



● 熊本県阿蘇郡

旅宿 **コットン倶楽部**
食処 **兎野六歩** (うさぎのろっぽ)

早野 正人
(1973年度 文学部心理学科卒)
コットン倶楽部&兎野六歩オーナー

熊本県阿蘇郡高森町
上色見2889
☎0967(62)2035
◎南阿蘇鉄道高森駅より
車で8分



阿蘇の大自然に寛ぎ、炭火で焼いた地鶏を堪能できる。古民家を生かした食処は和の情緒たっぷり。1泊2食6900円～。

● 愛知県名古屋市

蕎麦つづら

小佐野 覚
(1995年度 法学部法律学科卒)
蕎麦つづら主人

愛知県名古屋市千種区千種通7丁目21-2
☎052(735)7755
【営業時間】11:30～14:30/
17:30～20:00
※いずれも売切れ次第終了
【定休日】火曜・月曜(夜)
◎地下鉄桜通線「吹上」駅から徒歩約1分



自家製粉する香り高い二八そば、十割そばが評判。蕎麦、汁、天ぷら、全てに妥協のない美味さを追求する。天せいろ1650円。

手つかずの自然の中で味わう
絶品の地鶏と贅沢な時間

雄大な阿蘇の自然に魅せられゲストハウスを始めました。千二百坪の敷地の大半を芝生広場が占めるのびやかな場所で、身体を動かしたり、木陰で読書したり。思い思いにお過ごしいただいています。

本館は築二十六年の欧風建築。南側が芝生広場に面し、朝日から夕陽まで差し込む談話室の居心地よさは、ちよつと自慢したいぐらいですね。庭の片隅に建てた小屋は絵本の

ギャラリー。大人もつい時間を忘れてしまう場所です。

また地鶏をはじめ、南阿蘇の赤牛や新鮮な地産野菜をおいしく召し上がっていただけるよう、敷地内に炭火料理の食事処もご用意しています。こちらは古民家を改装して空間にもこだわりました。

当館を拠点に南阿蘇の自然、食、温泉、文化のおもてなしを体験していただけたらこれほど嬉しいことはありません。

蕎麦好きをうならせる
味、素材へのこだわりを身上に

大学を出たら商売をやれ、という父親の方針もあってこの世界に飛び込みました。しかしその父が余命幾ばくもない状態となったこともあって、休業半ばで店を出したのが十四年前。未熟でしたし、開店半年足らずで客足が途絶えてしまいました。しかしそんな折、同窓生や先輩がよく食べに来てくれましたね。食いたくもないだろうに、有難かったです。

まだ苦労も多いですが、店主としてのこだわりを貫かせていただいています。蕎麦は何といっても喉ごし、香り、甘み。そこは譲れない部分です。最高のコンディションを求めて産地も変えますし、生産者も指定しています。また天ぷらなどの旬の素材も直接仕入れることが多いですね。やはり足を運んでくださるお客様に全力を尽くしたい。中京魂なんですよ、きっと。

最寄りの目印スポット

高森温泉館

九州屈指の観光エリア、阿蘇。とりわけ風光明媚な南阿蘇に位置する高森町は雄大な自然の宝庫であり、高森温泉館は森の中のスパリゾート。阿蘇五岳の一つ、根子岳を一望するパノラマ風呂は最高。



最寄りの目印スポット

浩養園

サッポロビール名古屋工場の接待所として、昭和6年に開業した日本最古のビヤガーデン。醸造所を併設し、豊富な名水から生み出される本格地ビールを、名古屋の名物料理とともに味わえます。

名古屋市千種区



日本の競泳界に今、大きく開花する CHUKYOアイデンティティ

2013年、中京大学水泳部男子がふたたび大学頂点となる「天皇杯」を獲得しました。優勝へと導いたのは、チームスポーツとしての水泳を目指してきた鶴峯治元監督（元水泳部顧問）の教えであり、やがて指導者となり、その教えを競泳界それぞれの分野で実践し、選手育成に努めてきた同窓生たちの存在に他なりません。全員のチームプレーで掴み取った勝利といえるのではないのでしょうか。

中京大学 水泳部男子 日本学生 選手権大会制覇！

おかげさまで三年ぶり、二度目の天皇杯を手にすることができました。

じつは前回の八十六回大会で我々が優勝するまで、日大や早稲田、中央大学と関東勢が圧倒的な強さを誇り、天皇杯が箱根の山を越えたことが一度もなかったんですね。強豪選手が皆関東に集まってしまう構図の中で、地方の大学が初めて掴んだ勝利でした。

あれから三年。昨年も一昨年も僅差で二位と、伝統の重みがプレッシャーとなり、関東勢とのチーム力の差を見せつけられてきましたが、今回、天皇杯を奪還できたのは、選手やスタッフ、水泳部一丸となった総合力の勝利ではなかったかと思えます。

選手一人ひとりが全力を出し切り、そしてレギュラーになれなかった部員たちも彼らを本気で応援した。そのスクラムの強さは、試合の時だけ発揮できるものではありません。日頃の



中京大学水泳部部长兼監督
高橋 繁浩さん
1983年度卒
体育学部体育学科



チームビルディングの成果であり、全員で成し遂げた総合優勝に連覇への気持ちも一層、強まっています。

水泳部は大学創立とほぼ同じ頃に創部され、不十分な練習環境に苦勞しながらも十年先、二十年先を見据えて多くの選手を育ててきました。その彼らが今、指導者となり次世代の育成に取り組んでいる。すでにそこから我々の後輩も誕生し、CHUKYOの名を背負って頑張ってくれています。そうした時代を超えたつながり、同窓という大きなチーム力こそ私たちの支えです。今後もぜひ宜しくお願いします。

インターハイ優勝チームの指導者

十九年ぶりノ男女とも総合優勝

全国高校総体(インターハイ)には創部三年目より三十一年連続出場しています。その上位で戦えることを目標に指導してきましたが、「二〇二二年の大会で男子が初優勝。続く昨年は二連覇を果たし、さらに女子も優勝を勝ち取ることができました。男女ともに総合優勝するのは十九年ぶりのことで、指導し始めて三十年、「よくここまでたどり着いたな」というのが率直な感想です。

部員には「優勝したらすごいよね」という意識づけから始め、自信を持たせるよう努めてきましたが、もう一つ、本校の場合、約四十人の部員の内二十五名が寮生活です。今やスイミングスクールで個々のスキルを磨くのが主流ですが、同じ釜の飯を食う仲間とチームで戦えるのは強いですね。結束力が違います。

ロンドン五輪で松田丈志選手(二〇〇七年度体育卒)が「(北島)康介さんを手ぶらで帰すわけにはいかない」とコメントして話題になりましたが、

まさしく「水泳はチームスポーツ」です。それが最近、オリンピック選手たちにも浸透してきた。じつはこれを日本です。初めて提唱されたのが、中京大水泳部の鶴峯治元監督なんですね。

ただ、結果さえ出せばいいのではない。人と人がつながり、思いやる精神こそ中京大水泳部が培ってきたものであり、そのチームスポーツである水泳を今、同窓生たちの手で実現できているのかなあとも感じています。

小池、深田、そして寮に寝泊りして部員の生活面まで気遣ってくれる美



小池美保コーチ(1983年度卒 体育学部体育学科)、豊川高校水泳部 小池隆治部長(1983年度卒 体育学部健康教育学科)、深田大貴監督(1992年度卒 体育学部体育学科)

保コーチ(小池部長の奥様)と、中京ファミリーでスクラムを組み、東京五輪にぜひ選手を送り込みたいですね。

日本実業団大会優勝チームの指導者

仕事と両立し、実業団ナンバー1ノ

昨年夏の実業団大会では、連覇の続く自衛隊体育学校に圧勝し、十三年ぶりに優勝旗を奪還できました。現在、中京大OBは指導者を含めて十八名中七名所属していますが、とりわけ箕成貫之(二〇〇九年度体育卒)主将が東アジア大会代表となるなど、他の選手に刺激を与えてくれました。また社内後援会も発足し、選手の金銭面他の負担が軽減したことも優勝の背景にあるでしょう。

JFE水泳部は、「仕事と水泳の



JFEスチール(株)
JFE東日本京浜水泳部
ヘッドコーチ
横久 浩二さん
1984年度卒
体育学部体育学科

両立」を目指す実業団チームです。練習は就業後、しかも製鉄の余熱を利用したプールは室外にあり、選手の悩みも少なくありません。しかし苦労しつつも「実業団でやって良かった」と思えるよう、真剣味の心で選手一人ひとりと真摯に向き合い、彼らをひっぱっていきたいですね。

全日本中学校水泳競技大会優勝チームの指導者

文武両道で古豪復活ノ

二〇二二年、全国中学で総合優勝してきましたが、とくに昨年、目標に掲げた「連覇」を達成できたのは大きな収穫でした。

また、世代は違ってもOBや後輩の活躍には触発されますね。とくに天皇杯獲得の時は、実業団でJFEが優勝し、そのバトンを豊川高校が受け継いで男女とも総合優勝です。指導者は全員、同窓生と知っていましたので、僕も勝利のバトンを



愛知淑徳中学・高等学校
水泳部顧問
今井 規彦さん
2008年度卒
体育学部体育学科

母校にバスできて嬉しかったですね。次の目標は三連覇チームとしての団結力と日々の積み重ねが重要ですが、学業も大切です。いつか水泳部で頑張ったことが生徒たちの財産となるように。僕自身、教育者、指導者として成長していきたいと思っています。



聖なる火よりも熱く、母校ゆかりの7選手が大健闘!!



ソチオリンピック2014観戦記



2014 SOCHI OLYMPIC REPORT



銀盤に咲いたそれぞれの想い、
感動の余韻は今もなお。



浅田 真央(体育学部4年)

写真提供: 中日新聞社

初めて行われたフィギュア団体戦には、ペアで木原龍一選手と女子シヨートプログラムの浅田真央選手が出場した。木原選手は、ペア結成から一年余にもかかわらず自己ベストを更新して健闘した。浅田選手は得意のシヨートということで期待されたが、少しミスが出て三位に留まったが得点を稼ぐことはできた。残念ながら総合力で及ばず第五位に甘んじた。

木原選手は個人戦にも出場し、健闘空しくフリーには進めなかったが、この一年間の成長には目を見張るものがある。今後は日本のペアのパイオニアとして世

界と戦って欲しい。

いよいよ浅田真央選手と村上佳菜子選手が出場する女子シングルが始まった。最初のシヨートプログラム、しかし思わぬ結果となった。満を持して登場した村上選手であったが何時ものとはつらさがなく、ミスも出て十五位と出遅れた。最後に登場した浅田選手はこれがオリンピックの重圧なのか、三回のジャンプを総て失敗し十六位と自己ワースト記録となり、目の前の信じられない光景に誰もが我が目を疑い凍り付いてしまった。

そしてフリー。村上選手は持ち前のつらつとした演技で締めくくり、最後まで気持ちを切らさず滑りきった。演技終了後の笑みがそれを証明している。結果は十二位であったが、彼女は間違いなく



村上 佳菜子(スポーツ科学部1年)

写真提供: 中日新聞社

次代のエースである。それを自覚して精進して欲しい。

シヨートで苦しんだ浅田選手、フリーの演技は圧巻であった。最初のトリプルアクセルを成功させると、六種類八回のトリプルジャンプを鮮やかに決めた。自己ベストを更新し感動の演技であった。終わった後の彼女の涙に日本国中がもらい泣きしたのではないか。「これが浅田真央だ!」十人を飛び越え見事六位入賞を果たした。バンクーバーからの四年間、ジャンプのスランプや辛い別れを乗り越え、フィギュアスケートに真摯に向き合った日々は金メダルに負けない清々しい輝きを放っている。感動を有難う。



木原 龍一(スポーツ科学部3年)

写真提供: 中日新聞社



ソチオリンピック2014に中京大学関係者はフィギュアスケートの浅田真央(体育学部4年)、村上佳菜子(スポーツ科学部1年)、木原龍一(スポーツ科学部3年)、カーリングの小野寺佳歩(体育学部4年)、スケートショートトラックの清水小百合(2011経営学部卒)、スキーモーグルの伊藤みき(2010体育学部卒)、スキーアルペンの湯浅直樹(体育学研究科修士1年)の7選手が出場した。



小野寺 佳歩(体育学部4年)

写真提供:中日新聞社

小野寺佳歩選手は残念なことにインフルエンザにかかり序盤の二試合には出場できず、復帰後も体調は万全ではなくチームも苦戦が続いた。しかし四試合を残す頃から調子を取り戻しランキング上位国の中国とスイスに連勝して、メダルへの期待も膨らんだが、最終戦のスウェーデンとの試合で力尽きた。それでも見事五位入賞を果し過去最高の成績を収めた。小野寺選手が最初から万全の体調で出場していたらと思うと残念な気持ちが入り込んで来る。

彼女は陸上競技との二足の草鞋で培った心の強さを発揮し、悪い状況にもかかわらず後半戦になつてその実力を見せてくれた。そして悔しさを滲ませながらも四年後を見据えていた。頼もしい限りである。

不屈の精神で底力を発揮、
牙えわたるプレーで世界を魅了。



夢にむかって闘志を燃やした中京アスリートたち。



清水 小百合(2011年経営学部卒)



写真提供:共同通信社

清水小百合選手は3,000mリレーに第三走者として出場した。メダルを期待されていたが健闘空しく予選敗退となったが、順位決定戦で第2位となり第5位入賞を果たした。オリンピックで勝つことの難しさを経験したことは次に繋がる。今後に期待したい。

伊藤 みき(2010年体育学部卒)



写真提供:中日新聞社

伊藤みき選手は直前練習で着地に失敗して、以前痛めたところが更に悪化した為に棄権することになった。本人が一番悔しい思いをしているはずだ。この際治療に専念してその勇姿を再び見せて欲しい。4年後に期待したい。

湯浅 直樹(体育学研究科修士1年)



写真提供:共同通信社

湯浅直樹選手はW杯転戦中に骨折して、出場が危ぶまれたが、奇跡の回復で果敢に滑った。しかし骨折したリスクは大きく2本目で途中棄権となったが、逆境からはい上がる姿には敬意を表したい。



2013.11.2(土)

第16回 ホームカミングデー

Home Coming Day



小川陽子さん、馬場佐和子さん、鈴木若奈さん、岩佐知由紀さん、加藤千恵さん、長谷川真里さん、宮本千咲さん(1993年度 法学部)

ホームカミングデーの機会を利用して同級生で集まろうとメールで呼びかけ、今回、揃ったのがこの七名です。福井や三

懐かしさと驚きと、母校への誇らしい想い。うれしい同窓会になりました。

NAGOYA CAMPUS

名古屋キャンパス



重と遠方のメンバーもいますので、全員で顔をあわせるのは六年ぶり。

ひさびさに訪れた名古屋キャンパスで、学内見学ツアーに参加してきました。ちようど大規模な工事が始まる、という時に皆、卒業しましたので、ここまで変わっていたとは驚きです。清明ホールも立派でしたし、最新式の黒板は、後ろからもよく見えて羨ましいぐらい(笑)。

また後輩たちが資格取得や公務員試験も頑張ってくれているようですし、全国規模の大学として今ではブランド力も違うみたいですね。母校への愛着と誇らしさを実感できた一日となりました。

NAGOYA CAMPUS



学祭を歩いて

節目の年を飾るにふさわしい、地域住民参加の盛大な行事に。

第六十回目を迎えた中京大学祭のテーマは、「昇(のぼる)」。マは、「昇(のぼる)」も、質、規模共これまで以上に盛大な大学祭にしようと、地域住民も一緒に参加できるイベントが多く企画されました。そのせいか高校生やファミリー層に加え、今回はお孫さん連れのシニアもちらほら。幅広い年齢層の方々と笑顔でふれあう学生たちの姿が印象的な大学祭でした。

1998年、同窓会設立40周年を迎えたこの年に、

懐かしい母校の大学祭を卒業生にも開放しようと「第1回 ホームカミングデー」が始まりました。

学生やOB・OG、そしてそのご家族と今では大きな交流に発展しています。



近藤倫子さん・亀野真実子さん・小嶋美紀さん(1997年度 体育学部)

ホームカミングデーには、私たち三人でいつも参加しています。普段はなかなか会う時間が取れないので、その分、同窓

ホームカミングデーで再会するのが友人と親交を深める毎年の恒例行事です。

TOYOTA
CAMPUS

豊田キャンパス



会気分です。毎年集まるようにしています。キャンパスでは恩師と再会したり、懐かしい顔にばったり出くわすことも多いです。今年は午前中に早速アイスアリーナ見学に参加し、選手が滑走する姿を見られました。卒業生が最新の施設を見学できるなんて本当によいですね。フェイスブックでつながった同級生には、いつも来るように誘っているのですが、男性は奥さんに主導権を握られているのか、反応が鈍くて(笑)。でも、家族で楽しめますから、もつといろんな人に来てほしいですね。ぜひみんなが集まりましょう。

TOYOTA CAMPUS



学祭を歩いて

20回目の節目となる今年も会場は笑顔でいっぱい。

徐々に木々が色づき始め、秋の深まりを感じさせるキャンパス内で開催された第二十回中京大学とよた祭。『繫(つなぐ)』をテーマに、今年もライブやゲーム大会などが行われ、大いに盛り上がりを見せました。恒例のアイスアリーナ見学では、スタンドに詰めかけた大勢の参加者が、華麗に滑る選手たちを追いながら、興味津々にリンクを見つめていました。

名刺交換会



開学六十周年の節目にふさわしく、華々しく。

二〇一四年一月二十五日(土)、「中京大学名刺交換会」が名古屋観光ホテル・那古の間にて開催されました。第十回目となった今回は昨年の四百五十名を遥かに上回り、総勢七六〇名の同窓生が集う一大イベントとなりました。

連帯感と個の成長を キーワードに

「異業種間交流会」と謳われた今回の名刺交換会ですが、昨年の倍近い参加人数に加え、ビジネススーツに身を包んだ若い世代の姿が目立つ、熱気に溢れた催しとなりました。

第一部講演会では、「いつやるか? 今でしょ!」の決めゼリフが一大ブームとなった林 修先生(東進ハイスクール東進衛星予備校 現代文講師)が登場。「モチベーションアップ」をテーマに一時間、率直な物言いと軽妙

なトークで会場を魅了しました。

予備校の講師となつて二十三年。意外にも、「この仕事を好きで続けてきたわけではない」と冒頭から断言。しかし結果がすべての厳しい世界で生き抜くことを面白がり、むしろ楽しんでいたのだから。「その上で、報酬を得る立場の責任を果たそうと思えば、努力して当たり前だし、モチベーションを上げていくしかない。それが仕事というものでは?」と問いかけます。

大切なのは、自分にとっていかに結果を出しやすい場所を見つけるかであり、「必要性を感じなければ、無理に勉強しなくていい」と持論を展開。さらに「『ほとんどはすべてを激ませる根源』であり、仕事のクオリティを高めるためにはなれあいを避け、「一人力」を磨くこと。また高い目標を持つこともモチベーションアップに有効で、「個人で勝負できる一員であれ」との力強いメッセージをいただきました。常在戦場」という言葉が好きだ



という林先生の真剣味に触れ、心揺さぶられた方も多かったようです。

その後、宴会場に移動し、第二部・名刺交換会がスタート。早速、森谷敏夫同窓会長から「若い同窓生の参加を頼もしく感じると同時に、今後の活躍に期待している。また今一度、真剣味の精神を思い起こし、林先生のおっしゃる『一人力を個々が高め、同窓会という総合力へと活かして、母校を支える大きな力としたい』とご挨拶。

続いて梅村清英学園理事長が登壇され、「今日は同窓生の一員として、皆様との出会いを糧としたい。また本年度は長期計画「NEXT10」の施策を着実に実行に移し、大学のさらなる飛躍をめざす」と決意を示されました。

北川薫学長からは若い新理事長へのエール、ソチ五輪出場者の紹介、ビジネスイノベーション研究科のPRなどあり、「母校の今後にご期待くだ



さい」と熱い口調で語られました。

また今回、参加した同窓生の代表として衆議院議員神田憲次氏、下呂市長野村誠氏、前関市長尾藤義昭氏、名古屋市長橋本浩幹氏、元競輪選手井狩吉雄氏、大河ドラマに出演中の小西博之氏ら六名が紹介されると、場内にひととき大きな歓声が沸き上がります。

「同窓生、教職員、ソチ五輪に出場する選手たち、それぞれの立場で頑張ります。ではソチの言葉でウ



ダツチ(乾杯)！」と安村仁志副学長の音頭で乾杯が行われ、会場のあちこちで名刺交換が始まりました。

すぐに目に留まったのは、同じ経営学科の先輩後輩という石川まり子さん(〇八年度)、中村ゆりかさん(〇九年度)。「名刺を交換してみると偶然、取引先だったり、関連のない企業の方と思い、話してみると意外なつながりがあったり。初めての参加でしたが、視野が広がった気がします」

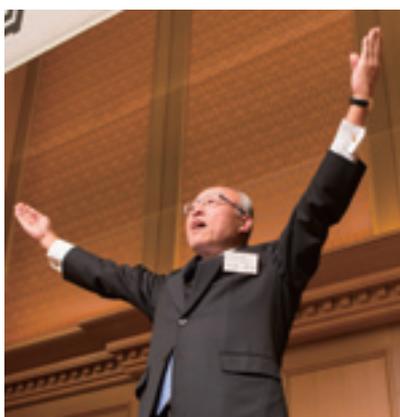
石川宗幸さん(〇九年度情報メディア工学卒)も初参加。「旅行会社に勤めていますので、気になる業界の動向をリサーチしておきたいです」と開始二十分ほど早くも七、八名の方と名刺交換されていました。

保育士の森島祐佳さん(〇一年度英文卒)は三重県から。育児休暇中ながら、「異業種の方々と話すことで、

仕事にも育児にもプラスになれば」と、思い切って初参加されたそうです。また建設業を営む桑原なほみさん(六十三年度体育卒)は、ほぼ毎年参加。「ビジネスというより、こうしたコミュニケーションの場に参加できることが嬉しいですね。若い方には吸収できることも多いので、どんどん活用なさるといいんじゃないですか」

税理士の近藤良夫さん(七十七年度商学研究科卒)は「母校は青春のすべて。懐かしい思い出がよみがえる、有難い機会ですね」とのこと。

あちこちで業種や世代を超えた交流の輪が広がる中、いつしか終了時刻を迎え、大西博視校友会本部長による中締めのご挨拶に続いて学歌を斉唱。最後は片岡武司参与の気合いの入ったエールに、場内から怒涛の拍手が沸き、宴は盛会のうちに終了しました。



役員紹介 / 会長・顧問・副会長

会長



森谷 敏夫

1972年度 体育学部 京都市
住所・連絡先:
校友会本部へご連絡ください

副会長



高橋 繁浩

1983年度 体育学部
1986年度 体育学研究科
みよし市

副会長



竹尾 悟

1969年度
文学部
小牧市

副会長



瀧 剛志

1993年度 情報科学科部
1998年度 情報科学研究科
みよし市

副会長



和田 政彦

1969年度
法学部
松阪市

顧問



土方 清

1968年度
商学部
桑名市

副会長



寺尾 悟

1997年度
社会学部
豊田市

副会長



相羽 由光

1972年度 商学部
1974年度 商学研究科
愛知郡

顧問



今井 宏司

1961年度
体育学部
岡崎市

副会長



森田 大延

1997年度
経営学部
名古屋市

副会長



鈴木 揚一

1977年度 体育学部
1982年度 体育学研究科
豊田市

顧問



川岸 信一

1965年度
体育学部
尾張旭市

東三河
支部長



小栗 俊朗

1979年度 体育学部
豊橋市
0532-47-9064

尾張
支部長



石黒 可妻

1983年度 体育学部
江南市
0587-56-1884

愛知県
支部長

西三河
支部長



伊澤 裕司

1977年度 文学部
名古屋市
052-684-0774

知多
支部長



三輪 りな子

1973年度 体育学部
東海市
052-603-0306

名古屋
支部長



安江 明康

1978年度 体育学部
春日井市
0568-85-2584

北海道
支部長

同窓生が各職場で活躍

矢藤 良雄 1969年度 体育学部 石狩市 0133-62-3165

行政関係等では、様似町長・坂下一幸(体育S45卒)、平取町長・川上満(経営S48卒)、当別町教育長・本庄幸賢(体育S50卒)、今金町教育長・中島光弘(体育S55卒)、北海道議会議員・赤根広介(体育H14卒)が手腕を発揮。また学校関係の管理職、会社の役員等重要なポストで多数が活躍し、各分野で頑張っています。



Special Report

各支部からのたより

山形県
支部長

相互交流に力を

石川 宏 1976年度 体育学部 米沢市 0238-23-1982

山形県支部も発足以来、はや20数年を経過致しましたが、画期的な発展という訳にもいかず、私の力不足を痛感しています。

北海道・東北支部との関係や、支部会員の相互交流にも力を入れなければなりません、各方面から期待もいただきながら、遅々として進展していないことを心苦しく思っております。



青森県
支部長

各地区の懇親から

井上 義則 1964年度 体育学部 五所川原市 0173-34-4976

青森県内同窓生は総勢125名になりました。**2015年は県支部同窓会開催の年となっています。**これを成功させるためには、各地区の繋がりが大事だと思います。三八地区は山本雅教、弘前地区は西谷勲、上十三地区は井上柁光、西北五は井上義則、皆で呼びかけ合いながら成功裏に終えることができればと願っています。



福島県
支部長

支部同窓会開催に向けて

山内 光樹 1975年度 体育学部 田村郡 0247-72-5670

福島県支部同窓会を平成26年9月に開催することとなりました。日頃連絡を取り合うこともできませんが、この機会に県内各地の同窓生と再会し、親交を深めたいと思います。同窓生の皆様には多数ご参加くださるようお願いします。また、会員の宛先不明者が100名近くいますので、同窓生をご存じの方はお知らせください。



岩手県
支部長

岩手県支部、頑張ろう!

田村 雄孝 1969年度 体育学部 盛岡市 019-659-2445

昨年10月5日(土)、15名と少ない参加でしたが、1年ぶりに岩手県支部同窓会が開催されました。大学からも梅村清英理事はじめ諸先生方、そして同窓会・校友会本部とたくさんの方々を迎え、盛大に開催されました。

2年後の全国同窓会をたくさんの県内同窓生で迎えたいと思います。よろしくご協力を!!



茨城県
支部長

生涯スポーツ優良団体 受賞

塚本 浩一 1983年度 体育学部 守谷市 0297-45-9796

平成3年度体育学部卒の金井信彦氏が館長を務める剣道場「俊水館道場」が、文部科学大臣より、平成25年度生涯スポーツ優良団体を受賞しました。俊水館道場は昨年10周年を迎え、幼少年を中心に幅広い年齢層との交流を通じ「礼儀正しく逞しい人材の育成」をモットーに、活発な活動を展開しています。



宮城県
支部長

道半ば、しかし母校の女子駅伝にエール

千葉 道博 1972年度 体育学部 石巻市 0225-76-2047

あの震災から3月で3年が経ちました。まだまだ復興が進んでいるとはいえません。そんな中、全日本大学女子駅伝競走大会が仙台で開催されています。今年も我が「中京大学陸上競技部女子」が出場したので、宮城県支部会員も大学ののびりを立て沿道で応援しました。これからも活躍を期待しています。



栃木県
支部長

同窓会開催を定期的なものに

渡辺 成美 1984年度 体育学部 小山市 0285-38-0705

栃木県支部会員数は、現在187名です。職業、年齢、地域も異なりますが、同窓生の皆さんはそれぞれ頑張っておられます。2012年度に支部同窓会を開催して以来、なかなか同窓会を実施できませんが、今後は定期的に開催したいと思っていますので、支部会員の皆様には、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



秋田県
支部長

さらに魅力ある支部同窓会に

佐々木 信吉 1969年度 体育学部 秋田市 018-834-4722

支部同窓会を開催してから、早くも数年が過ぎようとしています。

支部会員数も約140名と、秋田県支部は全国的に見ても卒業生が少ない支部ではあります。しかしながら他の支部には負けない支部として大いに盛り上げていく所存でございますので、是非ご声援をお願い致します。



新潟県
支部長
(新)

母校への熱い思いを胸に

竹内 知宏 1979年度 体育学部 新潟市 025-281-8455

この度、新潟県支部同窓会支部長を仰せつかりました。前支部長の瀬野正英先生の後任ということで大変身の引き締まる思いです。11万人を超える同窓会のご支援が出来ることと、中京大学の益々の発展に地元より寄与したいと考えております。母校への熱い思いをさらに強くしていけるよう頑張っていく所存です。



群馬県
支部長

3年後の総会にむけて名簿を更新中

三川 高 1970年度 体育学部 前橋市 027-221-3865

10月12日(土)、支部同窓会を開催し総勢50名、県内32名にご参加いただきました。また3年後に総会を予定しており、住所等の確認を行っていますので、同窓生(先輩・後輩)等をご存じの方は下記までお知らせください。

TEL・FAX : 027-221-3865

メール : taka43mikawa@yahoo.co.jp



山梨県
支部長

更なる充実を

山下 正人 1971年度 体育学部 中巨摩郡 055-275-3705

県支部長を引き継いだ昭和61年当時は、中京大学にお世話になっている学生が少ないことに加え、卒業された先輩方もほんの数人という状況でした。それから27年経過した今、245人が母校を巣立ち、母校の学びを活かして教員、警察、行政機関等で活躍しており、学校部会や警察部会を立ち上げるまで充実したところでは



埼玉県
支部長

各界で活躍する会員をご紹介します

高木 英朗 1969年度 体育学部 北本市 048-542-8303

企業や教育界等、幅広い分野で多くの会員が活躍されています。武田淳氏(83年度体育卒、蕨高校)は平成23年度に県優秀教員「はつらつ先生」、平成24年度には「中途退学者の減少への取り組み」で文部科学大臣賞を受賞されました。皆様も近況・情報等を是非お知らせ下さい。平成26年6月に同窓会を開催予定です。



長野県
支部長

部会の拡充に向けて

長谷川 浩一 1979年度 体育学部 飯田市 0265-22-1515

平成13年に支部長となり、今年で13年目を迎えます。毎年部会の拡充を、といいながら、なかなか前進できていないのが現状です。今後、警察、自治体さらには前回の支部同窓会でも話題に上った女性部会等情報を集めながら拡充に力を入れていきたいと考えています。同窓生の皆様の情報提供をぜひ宜しくお願い致します。



千葉県
支部長

なつかしい皆さんとお会いしましょう

猿田 明 1972年度 体育学部 四街道市 043-422-0620

千葉県内には300余名の同窓生がおります。平成26年10月には、4年前の千葉県国体時の全国同窓会以来の千葉県同窓会を開催します。大学卒業後はなつかしい友人の方々とお会いすることが少ないと思います。この機会に是非ご都合をつけていただき、多くの同窓生の皆様にご出席していただきたいと思



富山県
支部長

最後の国立競技場に舞う 中京OB

野田 智 1978年度 法学部 射水市 0766-56-2215

今年1月13日、第92回高校サッカー選手権大会で富山第一高校が初優勝しました。同校サッカー部の長峰俊之部長(75年度体育卒)は本学卒業後、母校富山第一高校の教員となり、30年間サッカー部を指導されました。この3月で定年を迎えられますが、教員生活の最後を「優勝」で飾りました。先輩おめでとうございます。



東京都
支部長

東京の組織力を高めたいと思っています

加藤 隆司 1982年度 体育学部 江戸川区 090-1735-5703

昨年度、東京国体の開催に合わせ、全国同窓会を開催させていただきました。関東近県の支部にもお力添えをいただき、盛会のうちに終えることができました。また大学、そして全国より多くのご参加をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。今後も同窓生の連絡を図りながら、組織力を高めたいと思



石川県
支部長

学校部会発足10年の節目に

岩下 良 1969年度 体育学部 金沢市 076-298-3122

今年度(26年)は、本県支部同窓会の核である学校部会が発足から10年目を迎えます。そこでこの記念すべき10年目を、支部同窓会のさらなる発展の一つの節目の年と捉え、記念事業等を計画中です。一般会員にも参加を呼びかけ、実りある同窓会を開催できるよう準備を進めたいと思っています。



神奈川県
支部長

神奈川に集う仲間と

諸石 晃 1982年度 体育学部 座間市 046-251-8887

神奈川県では毎年、中学生の有力選手が集うジュニアオリンピック陸上競技大会が行われ、指導者として同窓生が来県します。昨年モスクワ世界陸上に出場した安部孝駿選手の父親をはじめ数人の同窓生が集まり、思い出話に花を咲かせました。活躍する仲間の姿に元気を貰ったひとときとなりました。



京都府 広げよう!京都の絆
支部長 木村 義二 1972年度 体育学部 南丹市 0771-62-3370

「広げよう!京都の絆」をテーマに、京都の同窓生が集まる26年度総会を予定しています。また、2015年には近畿ブロック支部同窓会を京都で開催予定です。盛大な同窓会となりますよう皆様のご出席、ご協力を宜しくお願い申し上げます。今年度も京都の絆を大切に、それぞれの分野でご活躍ください。



福井県 同窓会の開催日を変更します!
支部長 坂下 貞雄 1967年度 体育学部 吉田郡 0776-61-0860

支部の懇親会は例年のように酒を酌み交わしながら大いに盛り上がりました。今回、大学の先生方との懇親ゴルフを初めて企画しましたが、寒さと参加者が少なかったため中止となりました。福井県支部の同窓会は毎年12月の第1土曜としてきましたが、今後、懇親ゴルフ等の日程を考え、開催日を変更する方向で検討中です。



大阪府 本格始動に向けてご協力を
支部長 岡本 博 1968年度 体育学部 大阪市 06-6340-3031

一昨年に続き、昨年11月、新大阪ワシントンホテルプラザで総会、懇親会を行いました。大学関係者8名を迎えて54名の参加者で新役員の承認と懇親を深めました。次回は11月9日(日)、同じ場所で開催予定です。活動が長く停滞していたこともあり、参加者が思うように集まりません。どうぞご協力下さい。



静岡県 さらに大きな輪の広がりを
支部長 橋本 美智夫 1967年度 体育学部 静岡市 054-262-9031

本県出身者の、現役学生たちが文化・スポーツで活躍している姿を見て、同窓生として大変嬉しく思っています。また県支部長となり10年が経過し、会員諸兄(諸姉)のご協力を得て組織づくりを推進してきました。今後も一般・学校・女子部会が一体となり、さらに輪を広げていきたいと考えています。



奈良県 同窓会開催を定期的なものに
支部長 高見 喬宏 1967年度 体育学部 宇陀市 0745-82-3426

以前は、支部同窓会を年に1回は開催していましたが、平成22年に開催して以来は実施していません。今後は定期的に実施できるように計画する予定です。現在は、会員数も455名に上りました。平成29年は久しぶりの支部同窓会も開催予定です。会員の皆様には、ご協力のほど、よろしく願います。



岐阜県 組織の活性化を図りながら
支部長 山脇 義宏 1962年度 体育学部 安八郡 0584-27-4678

岐阜県同窓会は5地区に分けて開催しています。県全体の同窓会は年1回行うことになりました。会員数も6500名になりました。それぞれ新しい役員で多くの参加を求めて組織の若返りを図り、同窓会の士気を一層高めて参りたいと思っております。最後に母校中京大学の益々の発展を願っております。



和歌山県 新生和歌山支部、上昇発進!
支部長 四至本 晴夫 1964年度 体育学部 泉南郡 072-494-0232

当支部は、同窓会員相互のつながりと絆をさらに深めて親睦と交流を図り、会員の地位向上と大学発展に寄与する目的で組織運営に資する会則を制定しました。また役員構成も支部長、副支部長、事務局長、代表幹事を中心に各地域、各職域、各体育クラブの幹事を設け、鋭意、同窓会進展の為に尽くしていきたいと思っております。



三重県 支部同窓会の盛大な開催に取り組む
支部長 加古 昭次 1965年度 体育学部 松阪市 0598-29-1719

今年は支部同窓会が三重県で開催されます。その準備として教員、警察、公務員名簿が出来上がり次第、会合を持ち、現在、活躍されている市長、町会議員、市会議員を中心に三重支部を発展させていきたいと思っております。12月の支部同窓会には、多数の方々のご出席をお待ちしております。



兵庫県 少しのお手伝い
支部長 藤田 英明 1964年度 体育学部 西宮市 0798-53-3383

昨年、大学選手権に出場していた女子ソフトボール部が雨天の練習に困り、市立尼崎高校の施設を借りのお手伝いをしました。活気ある練習風景を眺め、翌日、観戦した試合では城西大に快勝!優勝を決めた夜、二瓶監督より感謝の電話を頂戴しました。日本一を少しでもサポートできたこと、支部として嬉しく思っています。



滋賀県 同窓の絆を大切にしていこう
支部長 奥村 源太郎 1964年度 体育学部 甲賀市 0748-88-4911

一昨年、11月に「大津プリンスホテル」において滋賀県支部同窓会を開催。大変多くの同窓生がつい盛大な会となりました。また本県の同窓生も急増し、1400名を超えました。今後、一層連携を密に同窓の絆を強めていきたいと思っております。7年毎の中間年にも積極的に支部同窓会を計画できればと考えています。



徳島県 支部長 **祝!陸上競技部、西日本学生ナンバー1**
堀北 茂生 1969年度 体育学部 阿波市 088-696-3225

西日本学生陸上競技選手権大会が鳴門陸上競技場で7月に開催されました。選手の激励を兼ねた懇親会では、陸上競技部安藤好郎部長はじめスタッフ、選手を含め50数名の皆さんが集まりました。大会では男女とも総合優勝という輝かしい成績で、本県に中京大学の名をさらに広める絶好の機会となりました。



鳥取県 支部長 **鳥取県支部総会開催**
清水 寛 1972年度 体育学部 鳥取市 090-7777-3212

平成26年度の支部総会を10月に倉吉市の倉吉シティホテルで開催します。開催日の1ヶ月前に案内ハガキを郵送します。多数の参加をお待ちしています。

また県支部のために尽力いただいた竹中浩紀さん(77年健康教育学科卒)がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。



香川県 支部長 **支部同窓会が開催されます**
高橋 卓巳 1979年度 体育学部 観音寺市 0875-54-3736

本年、中国・四国地区支部長会と併せて支部同窓会が7年ぶりに開催(11月)されます。

本会は大学からも本部役員・先生方が多数来県され母校の近況報告などが行われます。本会が有意義な会となりますよう、多数の参加を願って各地区や年代で中心となる方への依頼を致します。ご協力のほどよろしくお願い致します。



鳥根県 支部長 **石見地区同窓会にご参加ください**
大森 栄二 1972年度 体育学部 松江市 0852-24-4225

25年度の本県支部同窓会を7年ぶりに開催。前回より11名少ない35名の出席者でしたが、久しぶりの再会に盛り上がりました。

石見地区の皆さんには、宿泊を伴い参加しにくいと、**26年度に石見地区同窓会を開催予定**です。発起人を田中利徳理事(71年度卒)にお願いしています。ふるってご参加ください。



愛媛県 支部長 **夢の舞台で日本一に**
村上 泰史 1984年度 商学部 今治市 090-3187-3045

今治市で日本拳法の道場を立ち上げて丸6年。昨年、ついに2名の全国チャンピオンが誕生し、努力は実ることを子どもたちに教えられました。**2017年のえひめ国体では、「デモスポとしての日本拳法」の今治市開催が決まっています。**青少年の健全育成や地域社会の発展に寄与できるよう、準備に取り組んで参りたいと思います。



岡山県 支部長 **各地区での同窓会も賑やかに!**
石川 浩朗 1969年度 体育学部 岡山市 090-1181-8014

支部同窓生の繋がりを強めるために4地区での開催を計画し、岡山・倉敷で開催できました。各会ともそれなりの成果を上げることができたと思っています。2月15日(土)には、津山市での開催が実現しました。新しい地区での開催でしたが、多数の方々に参加していただきました。



高知県 支部長 **支部総会へ多数のご参加を**
川島 祥嗣 1978年度 体育学部 高知市 090-3989-3060

昨年10月に本県で開催されました、ねりんピックでは大学関係者の方や多くの皆様にご来県いただき成功裏のうちに終了できました。ありがとうございました。**平成26年度の支部総会は5月31日(土)、翌日の6月1日(日)には恒例の梅村杯親睦ゴルフコンペを予定しています**ので、多くの皆様のご参加をお願いします。



広島県 支部長 **支部活動の活性化に向けて**
徳永 安春 1969年度 体育学部 広島市 082-289-7631

昨秋、役員を中心とした懇親会を開催し、そこで支部活動に再び活力を持たせる手段などが話題に上りました。手始めとして教育関係者の会を催すべく、準備に入っております。漸次、地区別会合などへと幅を広げ、総会へと進みたいと考えます。会員の皆様から各種情報のご提供と、会合へのご参加を宜しく願い致します。



福岡県 支部長 **九州支部同窓会の開催決定**
武尾 一三 1969年度 体育学部 遠賀郡 093-202-1706

福岡県は、県内を四地区に分け、毎年巡回で同窓会を開催しています。**2014年は9月13日に九州支部同窓会を福岡県で開催します。**会員数(559名)は九州でいちばん多い県です。“一人でも多く参加者を”をモットーに、世話人(ミニ懇親会を開いて)一同頑張っております。近県からの参加も宜しく願い致します。



山口県 支部長 **新たな出会いを糧に**
浜岡 藤生 1974年度 体育学部 下関市 083-259-8732

昨年、初めての先輩から連絡をいただきました。「ボンディ・パートナー・システム」という欧風カレーとコーヒーの会社を運営されているとのことで、わざわざ訪ねていただきアドバイスを頂戴しました。また**2年後に県支部同窓会を開催予定**です。支部活動のさらなる活性化につながるよう多数の参加をお待ちしています。



宮崎県
支部長

都城地区教職員懇談会の開催

野中 芳郎 1969年度 体育学部 宮崎市 0985-28-4343

都城市在住の大学卒業教職員たちは、先月、副市長野村秀雄氏(1972年法学部卒)を囲んで大学の思い出や市政・教育について、それぞれの思いを語り合い有意義な時間を過ごしました。初の企画でしたが、今後は他の卒業生にも呼びかけ、2016年の県支部同窓会成功に向けて、会員の絆を一層深めていきたいと思います。



佐賀県
支部長

高校総体開催に合わせて

佐保 文明 1970年度 体育学部 佐賀市 0952-62-4737

「吹きわたれ 若人の風 北九州へ」のスローガンのもと、全国高校総体「2013未来をつなぐ北部九州総体」が8月、佐賀県でも開催されました。8月4日には剣道競技に出場される全国の高等学校指導者・関係者の方々を迎え、佐賀県の中京大学剣道部卒業生の皆様が歓迎会を開催。佐賀支部からも4名参加しました。



鹿児島県
支部長

出会いと語らいの中へ

肥後 六男 1970年度 商学部 鹿児島市 099-295-3738

古代ローマのキケロは、「人生から友情を取り去るのは、この世界から太陽を取り去るようなもの」といいました。まさしく友情のない世界は暗黒です。友情こそ人生の宝です。2014年9月に支部同窓会を開催予定です。同窓生の皆様、母校の絆を確かめながら熱い友情を結び、楽しく語り合いましょ。参加をお待ちしています。



長崎県
支部長

歓迎!全国同窓会in長崎!!

妻鹿 実 1974年度 体育学部 西彼杵郡 095-882-8730

平成26年度「中京大学全国同窓会」が10月11日(土)長崎市にて開催されます。長崎は西洋と融合して栄えた異国情緒豊かな街並みや食文化、教会群や近代産業遺産、世界三大夜景などを楽しむことができます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。歴史と文化の香り漂う長崎の地で、中京大学同窓生の絆を深めましょ。



沖縄県
支部長

中京大学バンザイ!!

宮城 鐵夫 1971年度 体育学部 名護市 0980-52-0008

母校は2014年に60周年の創立記念年を迎えます。母校で学び、いろいろな見識を修得して1972年3月に卒業しましたが、早いもので42年の歳月が流れました。その間、我が母校は11学部の総合大学に生まれ変わり大発展を遂げ、国公立も含めて全国有数の大学になりました。60周年オメデトウございます。



熊本県
支部長

熊本県下同窓会組織力の強化を

陶山 三千也 1978年度 体育学部 玉名郡 0968-34-3254

熊本県支部同窓会員数(住所判明者)208名と九州・沖縄支部でいちばん少ない会員数であり、宛先不明者の数が127名と1/3以上の同窓と連絡がつかない状況です。県下各ブロック(市内・城北・城南・球磨人吉・芦北水保)での同窓会活動を何とか実現するためにも、ぜひ皆様にご協力をお願いしたいと思います。



アメリカ合衆国東部支部長(新)

大場 邦明
1965年度 商学部
ニューヨーク
845-753-5648



大分県
支部長

5年ぶりの支部同窓会を開催して

石井 厚 1963年度 体育学部 築上郡 0979-25-0525

11月16日、大学本部より竹尾同窓会副会長他4名の出席を頂き、大分市内のホテルで開催しました。2~3年前より本誌等を通じ、幾度も出席を呼び掛けましたが、残念ながら10人弱の参加でした。仕事の都合をつけ、途中に駆けつけてくれた会員もいましたが、県外在住の支部長では難しさもあり、交代を切に願います。



中華民国
(台湾)
支部長

趙 榮瑞
1985年度 体育学部
台中市
0932-646-415



カナダ
支部長
(新)

林 大輔
1990年度 体育学部
ビクトリア
250-721-9978



アメリカ
合衆国
支部長

立川 正孝
1966年度 商学部
ロサンゼルス
310-516-0366



オース
トラリア
支部長

平原 照仁
1989年度 社会学部
シドニー



全国同窓会

第二十九回全国同窓会

昨年九月二十八日(土)、新宿京王プラザホテルにて「第二十九回全国同窓会」を開催しました。

中京大学からは梅村清英学園理事長、北川薫学長をはじめ多数のご来賓の皆様、また全国から多くの同窓生の皆様にご参加いただき開催すること



が出来ました。心より感謝申し上げます。

おかげさまで旧交を温めたり、新しい出会いがあったりと実りある会となりました。アトラクションでは西新井江戸囃子保存会の寿獅子を楽しんでいただくことができ、お帰りの際、多くのねぎらいや感謝の言葉をいただきました。

また開催にあたって校友会本部より大きなご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。次回、長崎の地でお会いできますことを楽しみにしております。ありがとうございます。

(東京都支部長 加藤 隆司)

海外支部同窓会

アメリカ合衆国東部支部同窓会

海外支部五番目となる「中京大学アメリカ合衆国東部支部」の設立総会が、昨年三月七日(木)、ニューヨーク市内で開催されました。

総会には、会員四名と大学から梅村清英学園理事長をはじめ寺尾国際センター職員、赤羽校友会本部係長が出席。



大場邦明(六十五年商学部卒)が支部長、石塚由紀(七十二年商学部卒)が副支部長、原田はる枝(七十八年文学部卒)がそれぞれ事務局長に選出されました。

その後の懇親会では、ちょうど語学研修に来ていた母校の学生十二名と引率の若尾国際センター室長も合流して賑やかな会となり、瞬く間に三時間が過ぎました。

これから先、アメリカ東部支部は母校・中京大学の海外発展に強力な支援組織になると確信しています。

カナダ支部同窓会

今年一月十九日(日)、カナダ支部同窓会を顧問、支部長を含めた7名の参加を得て、新年会を兼ねてバンクーバー市内のレストランで開催しました。久しぶりに皆が顔を合わせることができ大変楽しい時間を過ごすことができました。

昨夏は語学研修中の学生や大関関係者とともに交流を深めるなど同窓会活動も定期的の実施しています。今年のバンクーバーは暖冬で山の上は雪が少なく、例年になく街中にも雨が少ない状況で過ごしやすさを感じています。

(事務局長 野原誠治)



支部同窓会

北海道支部同窓会

二十五年より全道を五ブロックに分け、輪番制で公開講演会、総会、懇親会等を実施することとしました。

今回は会場を旭川市に、湯浅教授による市民講演会を開催。その後の懇親会では同窓生四十三名、母校から北川学長はじめ八名のご来賓をお迎えして交流を深めました。

広大な面積を有する北海道は、開催地を毎年移しながら支部活動の活性化に努めたいと思います。

(矢藤 良雄)



岩手県支部同窓会

十月五日(土)、「北海道・東北地区支部総会」を行いました。

その後は、一年ぶりとなる「岩手県支部同窓会」を開催。十五名と少人数ながら、大学・同窓会関係の方々を加えて大いに盛り上がりました。

ほとんどは顔馴染みのメンバーでしたが、平成二十八年に開催予定の全国同窓会に向けて、同窓生らの意識の高揚を確認したところです。

沢山の参加者を集めて全国の方々をお迎えしたいと思っております。何卒協力下さい。

(田村 雄孝)



群馬県支部同窓会

十月十二日(土)、JR高崎駅前のワシントンホテルにて、森谷同窓会長、林邦夫教授を含めて大学関係者十名の出席をいただき、総勢五十名で「支部同窓会」を開催しました。

七年ぶり二度目となる同窓会でしたが、前回より幅広い方々にお集まりいただきました。今回は林教授の参加に伴って剣道部のメンバーが勢ぞろい。大学紹介のDVDでは母校の発展に驚嘆の声が上がるなど、会は終始盛り上がり、一同楽しく過ごしました。三年後に群馬県同窓会を予定しています。ご協力をお願いします。

(三川 高)



埼玉県支部同窓会

六月二十二日(土)、「埼玉県支部同窓会総会」をさいたま市内のパレスホテル大宮で総勢二十三名の参加を得て行いました。

支部同窓会会則、新役員の改選、同窓会の年会費等について協議し決定しました。

懇親会では相互に親睦を図り、また懐かしい旧友と交流を深めて時間を忘れるほどの盛会ぶりとなりました。

最後に学歌を斉唱して同窓の絆を再確認し、盛会のうちに幕を閉じた次第です。

関係者の方々に感謝するとともに、支部発展の為に努力して参ります。

(高木 英朗)



山梨県支部同窓会

二〇一四年一月二十四日(金)、甲府市内のホテルにて、「山梨県支部総会」を二十五名の参加を得て開催しました。

大学からは校友会本部片岡武司参与が出席。山下支部長の挨拶に続いて片岡参与から大学の現状と将来計画(NEXT 10)についての説明があり、開学六十周年という節目を迎え、さまざまな行事が計画される母校のために積極的な協力依頼がありました。

続いて野呂瀬顧問の音頭で乾杯。懇親会の席では出席者全員から近況報告があり、懸命に頑張っている同窓の姿に嬉しくなりました。

若い同窓生も参加する山梨県支部は、確実に次の世代への移行が進んでいると感じました。どうやら明るい未来が待っているようです。

静岡県支部同窓会

七月二十日、年一回の「静岡市地区同窓会(清水区)」を開催しました。県支部常任委員の杉山仁夫氏が中心となり、



約二十名の同窓生と、支部長・一般部会長・学校部会長の参加で市内在住の仲間が集結。今回は若い同窓生の出席もあり、話題も広がりました。

支部長挨拶に続いて情報交換、懇親会と限られた時間を有効に使い、参加者全員が近況報告。また六〇年代から現在までの大学沿革と個々の懐かしい思い出話を交え、若い世代に伝える機会ともなりました。次回も同時期に開催予定です。

(橋本 美智夫)

岐阜県高山支部同窓会

昨年四月二十日(土)、「高山・飛騨・白川村同窓会設立総会」を開催しました。その折には支部旗等、お心遣いをいただき、関係者一同心より御礼申し上げます。

おかげさまで設立総会は成功裏に終わり、発起人一同、不安から解放されて今後の結末のための準備が整ったと感じております。またこのような発足会がスタートできましたのは、



安村副学長はじめ校友会本部の皆様、とくに片岡校友会参与のご指導の賜物と感謝しております。

今後は設立の趣旨に従って仲間との親睦を深め、強い絆をもつて母校の発展に寄与できるような活動したいと思えます。本当にありがとうございます。

(会長 垣内 征雄
以下発起人一同)

岐阜県下呂支部同窓会

六月二十二日(土)、下呂市内のホテルバスターールにて、「第三回中京大学同窓会岐阜県下



呂支部の総会及び懇親会」を開催しました。

総会では役員改選、会計報告、その他の報告事項等を厳正に済ませた後、お楽しみみの懇親会へと移りました。

冒頭のご挨拶では、来賓代表として安村中京大学副学長より大学の現状をお話しいただきました。また近隣支部の皆様からは激励のご挨拶をいただくなど、同窓生の強い絆を感じました。

懇親会の途中には、下呂支部の内木様司会による大ピンゴ大会を開催。機械を無視した奇抜なやり方に皆、大爆笑で、時が経つのをすっかり忘れてしまうほどの盛り上がりとなりました。

最後は片岡校友会参与のメールにより皆で学歌を斉唱し、閉会となりました。今回、人数の少ない総会ではありましたが、皆楽しく、同窓生の絆を再認識する場となりました。今後も新規会員を増やしながら盛り上げていきたいと思えます。

愛知県尾張支部同窓会

五月二十五日(土)、「尾張支部同窓会及び懇親会」を名古屋駅前百楽にて三十七名の参加を得て開催しました。

大学から梅村スポーツ科学部長、金子教授をはじめ四名にご参加いただき、また愛知県学校部会顧問の吉田幸弘先生にもご臨席いただきました。

総会では会計報告、支部役員改選などを行い、続く懇親会では懐かしい話に花を咲かせました。特に若い世代の自己紹介は個性豊かで、参加者からは笑みがこぼれました。最後は学歌を斉唱し、明日へのエネルギーを充電して散会致しました。



愛知県西三河支部同窓会

七月六日(土)、名鉄トヨタホテルにて「愛知県学校部会西三河地区総会及び懇親会」を開催しました。

同窓会から今井顧問、校友会本部からは大西本部長、曾根課長をお迎えして有意義な会を持つことができました。

学校行事等の関係で、参加した会員は三十名でしたが、総会では役員改正を、懇親会では新規採用者を交えて楽しい時間を過ごしました。若い力が今後の同窓会を引っ張っていきます。今回参加できなかった方も次回ぜひ一緒に集い、同窓会の力を強めていきましょう。

(伊澤 裕司)



愛知県知多支部同窓会

立春を迎えた二月七日、知多支部同窓会を開催致しました。折しもこの日はソチ冬季五輪の開幕当日でもありました。

参加者五十二名は、五輪出場の在学生、卒業生合わせて七名の同窓らの活躍に思いを馳せ、五輪談議に花を咲かせながら再会の喜びを語り合いました。

校友会本部からは大西本部長様、片岡参与様、曾根課長様、曾根様にご出席をいただき、大学の近況等のお話も何うことができました。開学六十周年を迎える母校の歴史の中に、私



たち一人一人の足跡も礎になっているかと思うと大変、感慨深いものがあり、皆様に学生時代が本当に懐かしく思い出されていたようです。

知多支部は結成以来二十年を迎えます。立ち上げに力を尽くして下さった皆様に今更ながら感謝を申し上げます。

現在は、学校部会を中心に参集しておりますが、この節目により多くの同窓生の皆様と共に同窓会が開催できることを願っております。ぜひご理解とご協力をお願い致します。

(三輪 りな子)

福井県支部同窓会

十二月七日(土)、福井駅前のユアーズホテルフクイにおいて、「中京大学同窓会福井県支部の総会及び懇親会」を開催しました。

大学からは校友会本部長大西博視様をはじめ、顧問の今井宏司様、地元出身として出席していただいたスポーツ科学部教授の竹内外夫様、校友会本部参与の片岡武司様、課長の曾根直樹様、会員の人気

の的でした紅一点本部の曾根美樹様の六名の出席があり、大西本部長と竹内教授のご挨拶の中で大学の近況報告をしていただきました。

懇親会の締めは、恒例の学歌斉唱を全員でスクラムを組んで声高らかに歌い、次回の再会を誓い合いました。さらに片岡参与よりエール交換をいただいで閉会となりました。

今回、ゴルフの案内もさせていただきましたが、残念ながら参加者が少なくキャンセルとなりました。

会員の方々には、これまで以上に支部の活動に関心を持つ



ていただき、さらに親交拡大のために皆で声を掛けあい、先輩や後輩、そして新しい仲間とともに活動を盛り上げながら、福井県支部の結束を強固なものとし、大学発展に寄与したいと思っております。

(坂下 貞雄)

石川県支部同窓会

十一月十六日(土)、「第九回学校部会」を金沢市内のホテルで開催しました。会員五十名が参加した今回、県教委の池広教育次長による講演では現場に求める次長の熱い思いが感じられました。

続く懇親会では、安村副学長より躍進する母校の現状を、湯浅教授より健康チェック等のミニ講話をいただきました。その後、懇談し、盃を酌み交わす中で同窓の絆を深めることができ、次年度に向けた一層の団結力を確認し散会しました。

(岩下 良)

新潟県支部同窓会

「中京大地区同窓会」が新潟市で行われ、その後、大学



関係者、県外七県の地区支部長、地元新潟県支部会員、合わせて四十人の出席による懇談会が盛大に催されました。大学紹介DVDの上映後、安村副学長のご挨拶、乾杯へと移り、開学六十周年を迎える母校発展への想いと、懐かしい思い出話に花を咲かせながら賑やかに会が進みました。

最後に学歌斉唱でさらなる同窓会の絆を深め、次回の山梨支部にバトンを繋ぎ終了しました。(竹内 知宏)

和歌山県支部同窓会

二〇一三年十一月三十日(土)、安村仁志副学長はじめ七名の大学関係者、近畿地区支部長八名を迎えて、「近畿支部長会及び総会・懇親会」を開催しました。

新たに発足した組織体制の下、同窓会員は総勢百一名が参加し、世代を越えた交流と親睦の輪が広がりました。



なお、スポーツ功労者二名に花束を贈呈するサプライズもありました。

二〇一五年度開催予定の「紀の国国体」時に実施される全国同窓会の成功につなぐべく、この同窓会を契機に今後、つながりと広がりをより一層強めるとともに、新役員体制のもと同窓会進展のために尽くしていきたいと思えます。

(熊崎 訓自)

大阪府支部同窓会

平成二十四年に大阪支部を再結成しました。二十年ほどの間、独自の活動がなかったこともあり、出席者からは毎年支部懇親会を開いて欲しいという要望がありました。

その要望に応じて昨年十一月九日、新大阪ワシントンホテルプラザで「大阪府支部総会・懇親会」を開催させていただきました。

当日はお忙しい中、大学関係者八名の方にご出席いただき、新規約承認、新役員選出の後、楽しい懇親会で旧交を温めあうことができました。また総会・懇親会開催に向

けて、大阪支部の会員千二百名に案内を郵送しましたが、返事は二百名で出席者は四十二名でした。

この先、懇親会を地道に続けていく以外に道はないと思っています。

二十六年度は前年と同じ十一月九日、場所も同じく新大阪ワシントンホテルプラザで予定しています。ぜひ一人でも多くの方々に参加して頂けるよう、ご協力宜しくお願ひ申し上げます。

(岡本 博)



兵庫県支部同窓会ゴルフコンペ

「第九回兵庫県支部ゴルフコンペ」を猛暑の八月九日(金)、小野グランドカントリークラブで開催しました。

大学からは北川学長、校友会より三名、そして地元同窓生二十三名が参加し、廣岡敏貴(六十九年度体育卒)氏がみごと優勝を果たされました。

表彰・懇親会の席では、学長より現在の大学の様子や今後の展望等々の報告があり、参加者一同、母校中京大学のますますの発展を楽しみに、固い握手で締めくくりました。

(矢部 敏則)



島根県支部同窓会

十一月二十三日(土)、サンラポーむらくもにおいて、「支部同窓会」を開催しました。

大学から梅村清英理事長他八名、中・四国支部長八名、本県会員三十五名、総勢五十二名のご出席のもと、中京談義に花が咲き、盛大な会となりました。会に先立ち、大学紹介のDVDも上映され、目覚ましい発展ぶりに感動し卒業生として誇らしく思いました。今回は教員よりも一般の方々が多く、幅広い会話が弾み、旧交を深めることができました。

(大森 栄二)



徳島県支部阿波踊り
中京大学連

世界にもその名を知られた四百年の歴史を持つ徳島の夏祭り「阿波踊り」が、八月十二日から十五日の四日間行われました。

徳島県支部は中京大学の名前を染めた浴衣を羽織り、有名な連「八千代連」と合同で二日目の十三日に栈敷に元氣よく踊り込んでいきました。大学からは大西博視校友会本部長をはじめとする四名の皆さんと学生六名が参加し、中京大学OB連に華を添えていただき、総勢七十〜八十名で情熱的に踊りました。

毎年八月十三日に踊り込んでいますので、どなたでも参加できます。私たちと一緒に阿波踊りを楽しみましょう。



高知県支部同窓会ゴルフコンペ

六月一日(土)、市内ホテルで「支部総会・懇親会」を開催。懇親会では、大学の新施設や母校の現状についての話で盛り上がりました。躍進する母校に感銘を受け、卒業生としての自覚が一層強くなるのを感じました。



大分県支部同窓会

翌日は親睦ゴルフコンペを開催し、絆の強さを改めて痛感した一日となりました。

十一月十六日(土)、大分市内のホテルで五年ぶりに「支部同窓会」を開催しました。大学からは竹尾同窓会副会長、佐藤参与、柿山スポーツ科学部教授、大西校友会本部長、曾根課長にご臨席賜りました。

冒頭、この五年間に亡くなられた二人の物故者への黙祷を捧げて懇親会がスタート。今回は地元会員の出席者が少ないこともあつて、途中、自己紹介や近況報告が行われるなど和気あいあいと過ごし、最後は学歌を斉唱して会を閉じました。

(石井 厚)



鹿児島県支部同窓会

十一月三日(日)、市内のホテルで「県支部同窓会」を開催。校友会より曾根直樹課長、曾根美樹様のご出席を賜りました。曾根課長のご挨拶で大学の近況と、開学六十周年を迎えるにあたり取り組んでいる、しなやかに挑み続ける新生中京大学の長期計画NEXT10の説明があり、激しく変化する社会のニーズに対応する大学の改革と先見性に感動しました。懇親会では懐かしい話に花を咲かせ、時を忘れて大いに盛り上がり二次会へとなだれ込みました。

同窓会への参加が増えるよう、今後、連絡を密にしていきたいと思えます。



沖縄県支部同窓会

五年ぶりの「沖縄県支部同窓会」が十月十九日(土)、那覇市内のホテルロイヤルオリオンで盛大に開催されました。支部同窓会には、大学副学長の安村仁志先生をはじめ同窓会副会長の高橋繁浩スポーツ科学部教授、大内敬哉参与など十一名の先生方、職員の皆様にもご参加いただきました。また九州支部長会の七名の先生方、そして約五十名の県支部会員と終始、なごやかな会となりました。

(宮城 鐵夫)



学校部会

八豊会総会

二〇二三年度名古屋市立小・中・養護学校の同窓生による「八豊会総会懇親会」を五月十八日(土)、中京大学センタービルで開催しました。

総会では二十一名の新会員を加えて会員数が二百九十四名となり、その過半数以上が採用十年目までの青年部員であり、青年部活性化の重要性を全員で確認しました。懇親会では安村副学長からの激励もあり、大変有意義な会となりました。(服部 建二)



愛知県学校部会総会

「平成二十五年度愛知県学校部会総会」を六月一日(土)、名古屋キャンパスにて開催。

総会終了後は高橋繁浩氏にご講演いただき、その後、アリーナ二にて開催した懇親会には梅村清英理事長、北川薫学長はじめ二十名のご来賓のご臨席を賜りました。

学校部会の会員数はすでに千五百名を超えており、近い将来、本県教育界の一翼を担う組織になると予想されます。その時に備え、部会の在り方や人材育成など山積みの課題解決に向け邁進したいと考えています。(鈴木 揚二)



愛知県学校部会ゴルフコンペ

昨年八月、恒例となった「愛知県学校部会ゴルフコンペ」をオールドレイク春日井で開催しました。

当日は絶好のコンディションとなり、参加者からは一様に笑顔がこぼれる楽しいラウンドになりました。

大学からは梅村清英理事長、北川薫学長にもご参加いただき、ラウンド後のパーティではますます発展する中京大学の様子やNEXT10についてのお話がありました。素晴らしい環境の中、ゴルフを通じて交流できた一日でした。



愛知県特別支援学校部会

九月七日(土)、名古屋市のルブラ王山にて、愛知県特別支援学校部会の総会、研修会、懇親会が行われ、百三十六名が出席しました。

研修会では、昨年度まで愛知県学校部会部会長を務められた佐藤賢先生にご講演いただきました。現在、特別支援教育が抱える課題から、これから私たち教育者が向かい合っていくべき課題まで、幅広い見地でご教示いただけたと思います。(神谷 真吾)



八豊会二十周年祝賀会

創設二十周年を迎えた八豊会ではこれを記念して、十月二十六日(土)、ローズコートホテルにて祝賀会を開催。

梅村清英理事長、北川薫学長はじめ中京大学関係者、並びに名古屋市教育局、教育委員会関係者など多数のご来賓をお招きし、八十名を超える会員が参加しました。会は終始、和やかなムードで進み、参加者一同、親睦を深めあうことができた大変有意義な会となりました。(服部 建二)



愛知県学校部会管理職・
行政職懇親会

「平成二十五年度愛知県管理職行政職懇親会」を梅村清英理事長はじめ十八名のご来賓をお迎えして、十一月二日（土）、名古屋観光ホテルで開催しました。

本県における学校部会の会員数は千五百名を超え、管理職員・行政職員は百三十名を数えるまでになりました。今後とも本県教育界の一翼を担う組織として、各々が研鑽に励み、職責を果たしていきたいと改めて誓う機会となりました。

北海道支部学校部会

総会、研修会並びに懇親会を一月十日、札幌市内のホテルで開催しました。北川学長、大西校友会本部長、片岡参与をはじめ大学関係者及び支部役員の皆様のご臨席を仰ぎ、盛大な会となりました。

総会では、新年度役員として澤口新部会長（七十九年体育卒）が承認されました。引き続き行われた研修会では、スポーツ科学部金子耕一教授より示唆に富むご講演をいただき、その後の懇親会では大学の近況報告など、和やかなうちに学歌斉唱で終宴となりました。（澤口 文裕）

中京挙母会

新春二月二十四日、名鉄トヨタホテルにおいて、第二十六回中京挙母会が開催されました。中京挙母会では、保健体育教員だけでなく、国語や社会、数学と様々な教科の教員も増え、中京挙母会が、豊田市の教育を築く大きな柱であることを実感しました。

会では、様々な会員が懇親を深め、また、梅村清英様が新しく梅村学園理事長に就任されたお祝いや豊田市太田市長をはじめ、数々のご来賓にもご出席賜り、盛大に行われました。二〇一四年度に開学六十周年を迎えるこの節目のスタートにふさわしい素晴らしい会となりました。（杉浦 貴代）

警察部会

愛知県警察部会総会

二〇一三年二月二十三日、「第五回愛知県警察部会総会」を名古屋キャンパスにて開催しました。

第一部では、今春退職された榊原警視が警察人生三十八年間を振り返った数々の貴重な体験談を披露。その後、アレーナ二二に移り、学校幹部にもご臨席いただいて楽しい懇親会となりました。参加者四十二名は卒業生であることを誇りに、母校の発展に負けないようさらなる飛躍を誓いました。（山田 裕二）

クラブOB OG

中京ジュニアカップ体操
競技・新体操競技交流会

昨年三月、「第十七回中京ジュニアカップ体操競技・新体操交流大会」を開催しました。

体操競技は九日、十日の二日間、鯖江市の立待体育館で、新体操は九日に豊田キャンパス六号館を会場に小学生から高校生、両競技で三百三十九名の参加で行われました。毎年競技力が向上し、盛り上がった大会になっています。大会出場者の湯元さくらさんは第六回東アジア天津大会に出場しました。（野々部 利夫）



サッカー部OB会

昨年四月三十日にサッカー部の初代監督水野隆先生をお招きしてOB会を催しました。昭和三十八年五月二十五日、「第十回東海大学サッカー」で名商大を下し、初優勝したメンバー（倉井三郎、葉勝寺紀行、棚田清隆、田中勝緒、綾香堯、坂元二男、尾上達三、野々村征武、市場導彦、木下茂、豊本紀昭、高場政孝、相宮巖、寺田昌平、尾松修治、河内耕一郎）が中心となり、卒業後、初めて集いました。

(田中 勝緒)



美術部OBとしわ会

昨年九月二十四日～二十九日まで、「第十三回中京大学美術部OBとしわ会展」を名古屋市民ギャラリーで開催しました。今回はOBの東直樹君（春陽会会員）を含む十三名の会員だけでなく、梅村清弘学園最高顧問の作品も含めて計四十一点を展示。全体的にレベルの高い作品が多く出品され、OB各位の作品に対する努力の成果と存じます。ご協力いただきました皆様から感謝申し上げます。

次回は九月三十日～十月五日にて開催が内定しました。絵心がある同窓生の皆様もどうぞ参加され、親睦を深めてみませんか。

(川窪 元雄)



体操部四十一年度同期会

十月二十三日（水）から一日の日程で「第七回トナ会」を開催しました。

兵庫県支部の矢部敏則君を幹事に、十四名がニューヨークを含む各地から神戸に集結。神戸港での海上遊覧に灘の白鶴酒造資料館など、神戸の旅を満喫しました。懇親会では他界した三名のご冥福を祈り、その後、近況報告や学生時代のエピソードを語り合い、夜更けまで盛り上がりました。

また当初の予定を変更し、故杉村和明君の自宅を訪ね、ご冥福をお祈りしてきました。次は岐阜での古希の再会を誓い解散。永遠に友ー私たちの青春は終わらない。

(市川 絃)



体操競技部・新体操部
四十三年度同期会

十月二十七日、二十八日、滋賀県米原市のエクシブ琵琶湖にて、「第八回同期会」を参加者二十名で行いました。

初日は温泉に浸かり宴会。美味しい料理に会話も弾み、その後は全員で二次会、カラオケと盛り上がりました。

二日目は地元幹事三名の案内で彦根城周辺を散策。今回初めて女性部員二名が参加し、これまでとは違ったなごやかな同期会となりました。

次回は十月末に蒲郡で開催予定です。男女問わず、多くの方々の参加を期待しています。

(野々部 利夫)



アメリカンフットボール部
OB会

一月二十六日、中京大学名古屋キャンパスにて梅村清英名誉顧問、小山哲願問のご臨席のもと、総会ならびに名誉顧問の梅村学園理事長ご就任のお祝い会が開催されました。総会は新役員選出、事業報告等や、山内直人監督よりチームの現状報告があり、今シーズンの決意と抱負を述べられました。お祝い会では、平松正仁会長と瀧剛志部長より梅村理事長に記念品が贈呈されました。



在校生支援

課外活動奨励賞授与式

二〇一三年度同窓会課外活動奨励賞授与式を五月二十四



日(金)と十二月十九日(木)、豊田キャンパスで行いました。

この賞は、課外活動で優秀な成績を挙げた学生及び団体を表彰し、課外活動の高揚を図るもので、毎年、上半期と下半期に分けて表彰しています。

今回は上半期と下半期を合わせて、個人六十六名、二十六団体に賞状と奨励金を授与しました。今後とも社会、文化、スポーツに大いに活躍され、母校の発展に貢献されますことを期待します。

愛知県名古屋市新任教員研修会

昨年三月二日(土)、名古屋キャンパスセンタービルにて「愛知県・名古屋市立学校採用試験合格者(百十七名)研修会、懇親会」を開催。

第一部では、愛知県学校部会の管理職の方々から、新任教員となる方々へ教員としての心構えや準備等についてアドバイスをいただきました。

第二部の懇親会では、先輩教員への相談や新任教員同士の懇談など大いに盛り上がり、あつという間に時間が過ぎていきました。

愛知県教員採用試験面接・実技研修会

昨年四月二十日、在学生のための教員採用試験対策として、「第二十七回愛知県教員採用試験面接・実技講習会」を豊田キャンパスで実施しました。

これは教員志望の在学生に本学O・B・O・Gの教員が指導を行うもので、今回は六十三名が参加しました。

いくつかのグループに分かれ、実技や面接指導を受けた学生たちは、教員採用試験に向けて改めて強い気持ちを持ったようでした。

名古屋市教員採用試験学習会

昨年五月二十五日(土)、名古屋キャンパスセンタービルにて、古屋キャンパスセンタービルにて、古屋市立の小・中・養護学校教員で組織するO・B会(八豊会)の有志が集まり、教員志望者(二十名)を対象に、心構えや模擬小論文、模擬面接等を指導。また二十五年度に採用された

大学の要請を受け、名古屋市の小・中・養護学校教員で組織するO・B会(八豊会)の有志が集まり、教員志望者(二十名)を対象に、心構えや模擬小論文、模擬面接等を指導。また二十五年度に採用された

卒業生から、採用試験に向けて何を頑張ったかのアドバイスがあり、参加者は先輩の話に熱心に耳を傾けていました。(服部 建二)

愛知県警察官採用試験面接講習会

愛知県警察官採用試験に合格し二次試験を目指す学生たちを対象に「愛知県警察官採用試験面接講習会」が開催されました。

二〇一三年五月三十一日(金)、名古屋キャンパスに集まった参加者はスーツ姿に緊張した面持ちで講習会に臨みました。

問題集や参考書だけでは学ぶことのできない小論文や面接テクニック、近年の採用傾向や細かな注意点など、その道歩んだ先輩たちの的確なアドバイスに耳を傾けていました。



特別寄稿

今年のNHK大河ドラマの主人公は、姫路が生んだ希代の軍師黒田官兵衛に決定し、一月五日(日)から放映が始まっています。

生涯五十数度の合戦では一度も負け知らず。豊臣秀吉は彼の才能を高く評価し、「官兵衛がその気になれば、自分が生きている間に天下を取るだろう」と恐れをなしていたようです。

その官兵衛は播磨の小藩の一家老から、九州・福岡藩五十二万石の礎を築きました。

姫路には城址や古戦場跡、神社仏閣など官兵衛ゆかりの地がたくさんあります。想いを馳せながら、姫路の町を歩いてみませんか。ご来県の折にはどうぞご連絡ください。

連絡先 〒671-1023 2
兵庫県姫路市御園町御着974
☎079-1252-1518 5
携帯090-19046-1244 2
(兵庫県支部・中播磨地区長
井内 義延)

支部同窓会開催予定(二〇二四～二〇二〇年度)

地区	県名	会員数 (住所判明者)	年度(西暦)							
			14	15	16	17	18	19	20	
北海道・東北⑦	北海道	524							●	
	青森	125		●						
	岩手	119			★					
	宮城	128			●					
	秋田	137					●			
	山形	119				●				
	福島	148	●							
関東⑦	茨城	245			●				★	
	栃木	187					●			
	群馬	278								●
	埼玉	376						●		
	千葉	420	●							
	東京	662				●				
	神奈川	514		●						
中部⑧	新潟	528								●
	富山	1,539				●				
	石川	1,441					●			
	福井	1,204					★			
	山梨	245	●							
	長野	1,595							●	
	岐阜	7,365			●					
静岡	4,537		●							

※各都道府県支部同窓会は、7年に1度の開催になります。

● …地区支部長会 ★ …全国同窓会(国体開催県)

地区	県名	会員数 (住所判明者)	年度(西暦)							
			14	15	16	17	18	19	20	
近畿⑦	三重	6,362	●							
	滋賀	1,416								●
	京都	946		●						
	大阪	1,224			●					
	兵庫	2,151						●		
	奈良	455				●				
	和歌山	794		★						●
中国・四国⑨	鳥取	415	●							
	島根	519								●
	岡山	965								●
	広島	1,184		●						
	山口	530			●					
	徳島	790					●			
	香川	778	●							
九州・沖縄⑧	愛媛	681					★		●	
	高知	536						●		
	福岡	559	●							
	佐賀	211		●						
	長崎	270	★						●	
	熊本	208						●		
	大分	294								●
宮崎	298			●						
鹿児島	380					●				
沖縄	342								●	

二〇二四年度
同窓会開催予定(校友会本部共催分)

支部	開催日	開催地	会場	住所	電話番号
福島県	9月20日	(土)	郡山市 郡山ビューホテルアネックス	〒963-8004 郡山市中町10-10	024-939-1111
千葉県	10月18日		千葉市 ホテル ザ・マンハッタン	〒261-0021 千葉市美浜区ひび野2-10-1	043-275-1111
山梨県	11月29日		甲府市 ホテル談露館	〒400-0031 甲府市丸の内1-19-16	055-237-1331
三重県	12月13日		松阪市 華王殿	〒515-0011 松阪市高町502番地	0598-51-4122
香川県	11月22日		高松市 JRホテルクレメント高松	〒760-0011 高松市浜ノ町1-1	087-811-1111
福岡県	9月13日		福岡市 西鉄グランドホテル	〒810-8587 福岡市中央区大名2-6-60	092-771-7171
鳥取県	10月25日		倉吉市 倉吉シティホテル	〒682-0023 倉吉市山根543-7	0858-26-6111
全国同窓会 (長崎県)	10月11日	(土) 長崎市	ベストウェスタン プレミアホテル長崎	〒850-0045 長崎市宝町2-26	095-821-1111

二〇二二年度
中京大学同窓会 決算報告書

収入		支出			
前期繰越金	73,216,073円	支部同窓会開催費	29,952,832円	各会開催費	14,240,884円
会費	173,385,000円	全国支部総会費	2,186,356円	事務局運営費	5,230,317円
支部同窓会参加会費	1,776,000円	ホームカミングデー開催費	4,110,183円	学術・スポーツ活動奨励寄付金	2,000,000円
全国同窓会参加会費	246,000円	会報発行費	21,231,652円	雑費	1,397,249円
名刺交換会参加会費	1,188,000円	通信費	24,975,814円	入学辞退者等会費返金費	1,390,000円
中京大学UCSカード販売協力金	262,798円	広告費	30,000円	大学設備整備事業費	3,021,900円
受取利息	66,223円	奨学費	50,190,000円	教育事業支援準備費	30,000,000円
預金(振込手数料)	14,735円	課外活動奨励賞	7,950,000円	次期繰越金	49,748,453円
その他収入	5,333,121円	課外活動援助費	1,110,000円		
戻入金	3,956,400円	記念品等作製費	10,678,710円		
合計	259,444,350円	合計			259,444,350円

セミナーハウス 風光明媚なリゾート地に佇む、ゲストハウスをぜひ学生気分です。

マウントビュー 蓼科

南・中・北アルプスと八ヶ岳連峰の雄大なパノラマを望み、36,000平方メートルの広大な敷地に佇むのが「マウントビュー蓼科」。標高1,500メートルの高台にあり、周囲は白樺林に囲まれた閑静な別荘地。森の中で野生動物と出会ったり、星空を眺めたり。大自然と戯れ、澄んだ空気を深呼吸すれば、心からリラックスできることでしょう。館内にはサウナ付きの大浴場、さらにはテニスコートなど屋外施設も充実。お食事は季節の食材をふんだんにあしらった、和食中心のメニューをお楽しみいただけます。



〒391-0213 長野県茅野市豊平字東嶽4734-2841
TEL:0266-76-2588 FAX:0266-76-5539 / 一泊2食(平日)7,700円～

レイクビュー 白馬

信州・白馬山麓に位置する神秘的な青木湖を眼下に望むセミナーハウスが、「レイクビュー白馬」です。標高九百メートルに位置し、冬は目の前にあるファミリーゲレンデでウィンタースポーツを満喫。また八方、梅池、立山アルペンルートなどのトレッキングや青木湖でのフィッシング、安曇野周辺の美術館めぐりなど、スポーツからレジャーまで、オールシーズン楽しめる休日の拠点として気軽にご利用いただけます。夕食は地元の食材をアレンジした、洋食のフルコースをたっぷりご堪能ください。



〒398-0001 長野県大町市大字平エビスマ23370
TEL:0261-21-4500 FAX:0261-21-4510 / 一泊2食(平日)7,800円～

名古屋キャンパス内

放送大学

通信制大学の、バックアップ拠点として。

テレビやラジオによる講義を視聴し、マイペースで学びながら大学卒業資格を得られる通信制大学が「放送大学」です。本学センタービル4階にある「愛知学習センター」は、その北陸・東海地区における拠点で、メディアを介した一方向の授業に偏らないよう、スクーリングによる面接授業を実施しています。現在、学部学生、大学院生合わせて3,000名余が在籍していますが、向上心あふれる社会人学生を支え、人間交流をサポートするのも本学の大切な役目と考えています。



オープン カレッジ

学びの機会、学ぶ喜びをより多くの方々に。

中京大学では、一般の人々が参加できる生涯教育の場として、春期・秋期と「オープンカレッジ」を開講。文学、ビジネス、スポーツ、芸術など、多分野にわたる講座を開いています。語学学習などはとくに、個々のレベルに応じて選択できる上、開講時間も午前・午後・夜間と利用しやすいよう配慮。より多くの方々の生涯学習への旺盛な意欲をサポートしています。



個人情報保護法への対応について

【基本方針】

- 校友会本部における個人情報の取扱いは、次の方針で行います。
- ①利用目的をできる限り特定し、必要な範囲に限って個人情報を取得します。
 - ②利用目的の範囲内で、業務の遂行上必要な限りにおいて個人情報を利用します。
 - ③取得した個人情報は、本人の同意を得ることなく、第三者に提供しません。
 - ④情報セキュリティ対策をはじめ、個人情報の紛失、漏えい等の予防に努めます。
 - ⑤外部への業務委託については、個人情報の保護に関する契約の締結及び委託先に対する監督を行い、情報の管理に努めます。
 - ⑥本人から個人情報の開示・訂正等の請求がなされた場合は、その請求を尊重して対応します。

【具体的方針】

- ①会員データの利用目的は、会則に定める「会員相互の親睦を図り、中京大学の発展に寄与すること」に必要な各種案内や刊行物の発送に限り、それ以外の目的には利用しません。

- ②校友会本部が管理する個人情報のうち、「会員ナンバー、卒業年度、学科、氏名、住所、電話番号、勤務先名、職名、勤務先電話番号」を各県支部長(部会長)及び各OB会長に提供します。ただし、提供するデータは各所属会員のものに限り、提供します。
- ※この場合の各県支部長(部会長)・各OB会長は、(法21条に定める)校友会本部の従業者該当します。
- ③個人情報は校友会本部が一元管理し、従業者が個人情報を適正に管理するよう監督します。
- ④従業者以外の方には、個人情報を提供しません。(同窓会名簿は発刊しません。)
- ⑤第三者が情報の提供を求めてきたときは、校友会本部がその用件を本人に取り次ぎます。(本人が必要と判断した場合は、本人から相手方に連絡をとっていただきます。)
- ⑥本人から個人情報について削除の請求がなされたときは、その請求を尊重して対応します。

※個人情報の削除を希望される方は、校友会本部へご連絡ください。所定の手続きの後、データを削除いたします。ただし、削除後は中京大学広報や同窓会通信等の刊行物及び同窓会やホームカミングデー等の開催案内が一切届かなくなりますのでご承知おきください。

編集後記

「同窓会通信第32号」をお届けいたします。今回の第32号では、開学60周年を迎え「NEXT10」の第一歩を踏み出す記念すべき年に、真剣味という共通の価値観のもと未来に向け一致団結を呼びかけることをテーマに構成しました。

また同窓会では、各都道府県支部同窓会、地域または職域の同窓会、全国同窓会、ホームカミングデー、名刺交換会など多くのイベントを実施しております。是非これらの会にご参加いただき、新たな人との出会い、旧知の方との絆を大事にいただければと思います。

「同窓会通信」は、大学と同窓生、同窓生同士を結ぶツールであり、多くの方々に読んでいただきたいと思い作成しております。

最後に、本号の制作にあたりお忙しい中ご協力いただきました多くの方々に厚くお礼申し上げます。

校友会本部 同窓会通信編集担当



中京大学同窓会の会員証とUCSカードが一体化!

「中京大学 UCSカード」は中京大学同窓会の会員証としてのみならずクレジットカードとしても国内・海外で幅広くご利用いただけます。さらにUCSが提供するうれしい特典が満載のカードです。

校友会のカードとして

中京大学UCSカード会員のショッピング
ご利用金額の一部が**同窓会へ寄付**され、
奨学金として有効に活用されます。

いろいろなお得をご利用ください。

会員さま感謝デーは**5%OFF**

アビタ・
ユーホーム

毎月**19・20日**



ピアゴ

毎週**金曜日**



※直営売場が対象です。
※定休日の場合もございます。また金券類、たばこ、
書籍等、一部の指定商品は除外です。
※詳しくは店頭にてご確認ください。
※一部ユーホーム店舗では毎週金曜日の開催となります。

UCSカードは安心して、ご利用いただけます。

カード盗難保障

無料で
おつけて
おります。

万一、紛失・盗難にあわれても、紛失のお届け日より60日前からの不正利用を本人会員様・家族会員様ともに保障いたします。詳しくはカード送付時に同封のUCSカード盗難保障制度規約をご確認ください。

ショッピング安心保険

保険料
無料

UCSカードでご決済・ご購入いただいた商品の、破損・盗難・火災による損害を商品購入日より90日間補償いたします。
(1品1事故購入価格5,000円～100万円・免責3,000円)
※一部補償の対象とならない事故・商品(食品、眼鏡、自転車、携帯電子機器等)がございます。

※各サービスのご利用方法等については、カード送付時に同封の「UCSカードご利用ガイド」をご覧ください。

使えばお得が貯まります。Uポイントプラス

Uポイント

プログラム



UCSカードでのお買い物に応じてポイントが貯まって、商品との交換ができる特典です。

ポイント有効期限は最長**2年**

ご利用200円ごとに1点の
ポイントが貯まります。
ポイント有効期限内にさらなる
ポイントアップを目指してください。
★詳細はカード送付時に同封の
ご利用ガイドをご覧ください。



選べる**6つ**の商品

ポイント有効期限内ならいつでも商品と交換いただけます。

- ◎ユニグループ商品券
- ◎図書カード
- ◎ギフトカード
- ◎JALマイレージバンク
- ◎(財)日本ユニセフ協会への寄付
- ◎日本赤十字社への寄付

商品との換算表

点数	交換商品
1,000点	1,000円
2,000点	2,000円
3,000点	3,000円
4,000点	4,000円
5,000点	5,000円
6,000点	6,000円

※以降も1,000点ごとに1,000円分の商品券等と交換できます。

旅行のお申し込みでUポイントが貯まる!

「トットラベル・バックツアー予約センター」または「シティツアーズ電話予約センター」へバックツアーのご予約をお申し込みいただき、「UCSカード」でお支払いいただくと、

ご旅行代金(基本旅行代金・各種追加代金)の

Uポイントが5倍になります。

トットラベル・バックツアー予約センター

インターネットでお申込み <http://travel.ucscard.co.jp>
(24時間受付)

お問合せ先 ☎ **0120-103-161**

【営業時間】AM10:00～PM6:00(12/28～1/3は休業)

シティツアーズ・電話予約センター

電話でお申込み ☎ **0120-606-758**

【営業時間】AM9:30～PM6:00(日・祝日は休業)

※本サービスは2014年1月現在のものです。予告なくサービスの変更・中止をさせていただく場合がございます。

入会金・年会費無料!

お問い合わせは

中京大学校友会本部
(同窓会・教育後援会事務局)

TEL 052-835-7111(大学代表)
TEL 052-835-7140(校友会本部)

FAX 052-835-6069

〒466-8666 中京大学URL

名古屋市長和区八事本町101-2

<http://www.chukyo-u.ac.jp> 校友会本部e-mail koyu@mng.chukyo-u.ac.jp